

2019 年度事業報告書

2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日

I. 社会貢献啓発事業(公益目的事業 1)

1. 機関誌の頒布事業

当協会の活動報告とともに、社会の課題を抽出し特集として企画・編集した。

2019 年度	特 集
No.391(4月号)	あなたの誕生日に寄付しませんか！
No.392(6月号)	人間はどこに向かうのか？～生物進化に学び、未来を創る～
No.393(8月号)	やってきたのは労働力ではなく人間だった
No.394(10月号)	「グレーインフラ」から「グリーンインフラ」へ
No.395(12月号)	塀の中でも外でも出番をつくる
No.396(2月号)	今、あらためてアダム・スミスに学ぶ

2. インターネットを利用した情報提供事業

当協会の活動をはじめ、企業の社会貢献・CSR 情報の提供、NPO・NGO 団体の活動最新情報を発信。

- (1) メールマガジン(毎月 1 日・15 日配信 配信数約 6,000 件)
- (2) 当協会 WEB サイト情報更新。
- (3) 理事長ブログ(2018.9.20～)第 18 回まで掲載。
- (4) (1)(2)を補完する情報発信源として、SNS (facebook)を利用。協会をより身近に感じてもらう事の出来るトピックを選び、職員全員で情報をアップ。 <https://www.facebook.com/philanthropy.or.jp>
- (5) 動画アプリ「1Roll」を導入し、2020 年 2 月～12 月までの間に 100 本の短時間動画(30～60 秒)を作成し、ホームページ、SNS (You Tube、Facebook、Twitter 等)での発信を行なう。8本配信済み。

II. 社会貢献促進事業(公益目的事業2)

1. 研修事業

(1) 定例セミナー

年度の初めは新任の CSR 担当者も多いことから、今年度も4月より5回シリーズで基礎講座を開講。7月～10月はSDGsの本質、社員参画、障がい者雇用についての講座を開催した。

実施日	内容	参加者数
第 355 回 2019 年 4 月 17 日	CSR 基礎講座 I 『SDGs 時代の社会と企業～持続可能な社会づくりに求められる企業の 視野と戦略～』 ＜講師＞川北 秀人 氏 (IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表)	42 名
第 356 回 5 月 16 日	CSR 基礎講座 II 『ESG 投資の最新動向～投資家とともに目指す 2030 年の社会』 ＜講師＞水口 剛 氏 (高崎経済大学 経済学部 教授)	29 名
第 357 回 5 月 29 日	CSR 基礎講座 III 『社員ボランティアの立場から企業の CSR を考える』 ＜講師＞山崎 直子 氏 (UBS 銀行東京支店 ウェルスマネジメント本部 東京第一営業本部 部長 ディレクター)	38 名
第 358 回 6 月 11 日	CSR 基礎講座 IV 『CSR 担当者の役割と課題』 ＜講師＞木村 純子氏 (キャノン株式会社 CSR 推進部 部長)	44 名
第 359 回 6 月 24 日	CSR 基礎講座 V 『SDGs で自分を変える、未来が変わる』 ＜講師＞川廷 昌弘 氏 (株式会社博報堂 DY ホールディングス グループ広報・IR 室 CSR グループ 推進担当部長)	43 名
第 360 回 7 月 25 日	SDGs の本質 ～「誰一人取り残さない」社会の実現のために～ ＜講師＞黒田 かをり氏 (一般財団法人 CSO ネットワーク 事務局長・理事)	35 名
第 361 回 9 月 18 日	障がい者雇用への新しい道筋 ＜講師＞ ①金子 健二氏(株式会社マーキュリー) ②那部 智史氏(NPO 法人 AlonAlon 理事長)	35 名
第 362 回 10 月 8 日	「社内に SDGs を浸透させる」 ～社員参画を進めている企業の事例に学ぶ～ ＜講師＞ ①小谷 美樹氏(積水ハウス株式会社 CSR 部部長) ②喜納 厚介氏(パナソニック株式会社 CSR・社会文化部事業推進課課長)	55 名
第 363 回 11 月 12 日	【施設訪問】社会インフラとしての老人ホームに学ぶ高齢者問題 ＜講師＞ 岩城 隆就氏(株式会社さんわ、 シルバーヴィラ向山代表取締役、社会福祉士)	12 名
第 364 回 12 月 5 日	「ESD(持続可能な開発のための教育)」に、社内浸透のヒントを学ぶ ＜講師＞ 阿部 治氏(立教大学総長補佐、同社会学部教授、ESD 研究所所長、 元日本環境教育学会会長)	23 名

第 365 回 2020 年 1 月 16 日	「東京オリンピック・パラリンピックのレガシーを SDGs の視点から考える」 ＜講師＞ 星加 良司氏(東京大学大学院 教育学研究科附属 バリアフリー教育開発研究センター 准教授)	20 名
第 366 回 2 月 5 日	「企業による文化・芸術支援の意義と課題を考える」 ＜講師＞片山 正夫氏(公益財団法人セゾン文化財団理事長)	27 名

(2) フィランソロピーセミナー

実施日	内容	参加者数
第 34 回 2019 年 7 月 24 日	『社内に SDGs を浸透させるヒント』～社員参画を進めている企業の事例に学ぶ～ ＜講師＞積水ハウス株式会社 CSR 部 部長 小谷 美樹氏 パナソニック株式会社 CSR・社会文化部 事業推進課 課長 喜納 厚介 氏	29 名
第 35 回 11 月 11 日	SDGs で自分を変える、未来が変わる ～SDGs を自分ごととして考える～ ＜講師＞株式会社博報堂 DY ホールディングス グループ広報・IR 室 CSR グループ 推進担当部長 川廷 昌弘氏	36 名

(3) 経営者向けエグゼクティブセミナー

2019 年度も、昨年度に続き企業経営者向けセミナーを開講。今年度のテーマは「SDGs 時代の経営と人材育成を考える」。SDGs は、2030 年における持続可能社会の実現に向け、企業の役割として、社会に対して責任を果たすという守りだけではなく、持続可能な社会の実現を積極的にリードすることを求める。今後の企業経営に必須の社会的視点、人材育成の視点から 5 回シリーズで学んでゆく。

実施日	内容	参加者数
第 1 回 2019 年 10 月 25 日	「深化するCSR調達 国際的な潮流と課題」 ＜講師＞足立 直樹氏(株式会社レスポンスアビリティ 代表取締役)	6 社 9 名
第 2 回 11 月 14 日	「自立した従業員と共に創る CSR 経営」 ＜講師＞山崎 直子氏(UBS 銀行 東京第一営業本部 部長)	6 社 9 名
第 3 回 12 月 11 日	「経営者視点からの CSR/SDGs への取り組み～企業価値向上のための実践～」 ＜講師＞大久保 和孝氏(株式会社大久保アソシエイツ 代表取締役社長、公認会計士・公認不正検査士)	6 社 8 名
第 4 回 2020 年 1 月 23 日	「SDGs 達成にむけて金融の果たす役割とは ～ESG 投資の深化から～」 ＜講師＞河口 真理子氏(株式会社大和総研 調査本部研究主幹)	5 社 8 名
第 5 回 2 月 20 日	「SDGs時代の企業経営におけるダイバーシティと人権」 ＜講師＞村木 厚子氏(津田塾大学客員教授)	8 社 10 名

(4)「アメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・アカデミー」

～NPOリーダーのためのリーダーシップ育成プログラム～

① American Express Leadership Academy Global Alumni Summit 2019

「アメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・アカデミー」のスポンサーである

アメリカン・エクスプレス財団より招待を受けて、研修生とパートナー団体を対象にしたグローバル・サミットに藤川 祥子が出席した。

日時:2019年3月31日(日)から4月2日(火)

会場:(米国ワシントンDC)

② アメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・アカデミー2019 第11期 東京

日時:2019年5月30日(木)から6月1日(土)2泊3日

会場:ホテルフクラシア晴海(東京都中央区)

総合監修:米倉 誠一郎氏(法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授)

講師:印南 裕二氏(アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc. 加盟店事業部門
副社長 兼 ゼネラル・マネージャー)

金子 健二氏(特定非営利活動法人 Check 代表理事)

田中 康之氏(株式会社 BRICOLEUR パートナー)

前野 隆司氏(慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授)

宮地 勘司氏(株式会社教育と探求社 代表取締役社長)

研修参加者:全国のNPOリーダー29名(公募および推薦)

プログラム:

<基礎講座(理念・哲学)>

・「NPOのリーダーシップにおけるイノベーション」(米倉 誠一郎氏)

・「イノベーションとリーダーシップ育成」(米倉 誠一郎氏)

<実務講座(業務遂行能力)>

・「幸せな社会の実現のために」(前野 隆司氏)

・「モチベーション・マネジメントと異文化理解」(田中 康之氏)

・「ユニバーサルイレ・チェック(フィールドワーク)」(金子 健二氏)

・「アメリカン・エクスプレスのリーダーシップ論」(印南 裕二氏)

<グループワーク>

・「私の履歴書」執筆を含む「自己探求の旅」(宮地 勘司氏)

・課題に対する企画の作成およびプレゼンテーション準備

・課題プレゼンテーション

③ アメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・アカデミー2019 第11期 福岡

日時:2019年8月1日(木)から8月3日(土)2泊3日

会場:TKP ガーデンシティ PREMIUM 博多駅前(福岡市博多区)

総合監修:米倉 誠一郎氏(法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授)

講師:須藤 靖洋氏(アメリカン・エクスプレス・インターナショナル, Inc. 法人事業部門
副社長 兼 ゼネラル・マネージャー)

金子 健二氏(特定非営利活動法人 Check 代表理事)

小柳 佑衣子氏(株式会社教育と探求社 創発部サブマネージャー)

田中 康之氏(株式会社 BRICOLEUR パートナー)

前野 隆司氏(慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授)

研修参加者:全国のNPOリーダー29名(公募および推薦)

プログラム:

<基礎講座(理念・哲学)>

- ・「NPOのリーダーシップにおけるイノベーション」(米倉 誠一郎氏)
- ・「イノベーションとリーダーシップ育成」(米倉 誠一郎氏)

<実務講座(業務遂行能力)>

- ・「イノベティブ・リーダーシップのための幸福学」(前野 隆司氏)
- ・「モチベーション・マネジメントと異文化理解」(田中 康之氏)
- ・「ユニバーサルイレ・チェック(フィールドワーク)」(金子 健二氏)
- ・「アメリカン・エクスプレスのリーダーシップ論」(須藤 靖洋氏)

<グループワーク>

- ・「私の履歴書」執筆を含む「自己探求の旅」(小柳 佑衣子氏)
- ・課題に対する企画の作成およびプレゼンテーション準備
- ・課題プレゼンテーション

④ アメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・アカデミー2019

第11期 東京『フォローアップ・セッション』

日時:2019年12月10日(木) 13:00~18:30

会場:フクラシアオアゾ丸の内(東京都千代田区)

参加者:5月の合宿研修に参加した研修生19名

⑤ アメリカン・エクスプレス・リーダーシップ・アカデミー2019

第11期 福岡『フォローアップ・セッション』

日時:2020年3月3日(火) 13:00~17:45

参加者:8月の合宿研修に参加した研修生15名

新型コロナウイルス感染拡大防止策としてビデオ会議にて実施

2. 顕彰事業

(1) 第17回企業フィランソロピー大賞

<スケジュール>

2019年	5月27日	公募開始
	10月2日	第1次選考委員会
	10月中旬~11月下旬	各社ヒアリング 13社
	12月6日	選考委員会・贈呈先企業決定
	12月25日	贈呈先企業の発表
2020年	2月21日	贈呈式(学士会館)

<選考委員>

委員長 國部 克彦氏(神戸大学 副学長/経営学研究科教授)

委員 井出 明子氏(日本電信電話株式会社 常勤監査役)
佐藤 雄二郎氏(株式会社共同通信社 代表取締役社長)
渋谷 健氏(コモンズ投信株式会社 取締役会長)

<応募状況>

公募25件 事務局推薦14件 計39件

<選考対象企業>

13社

<受賞企業>

★企業フィランソロピー大賞

第一勧業信用組合 (東京都新宿区)

北良(ほくりょう)株式会社 (岩手県北上市)

★企業フィランソロピー賞

【里山イノベーション賞】	石坂産業株式会社	(埼玉県三芳町)
【つなぐ灯(ともしび)賞】	大阪ガス株式会社	(大阪市)
【笑顔を届けま賞】	株式会社クラレ	(東京都千代田区)
【未来への道しるべ賞】	阪急阪神ホールディングス株式会社	(大阪市)
【地域モビリティ賞】	株式会社 光(ひかり)タクシー	(北九州市)

3. フィランソロピー・バンク事業 (個人寄付普及事業)

(1) NPO 向け

社名	内容
株式会社かんぽ生命保険	保険商品でウェブ約款を選択した顧客数に応じ寄付金を拠出するプログラムで環境分野の NPO 34 団体に寄付金を配布。
株式会社ジェーシービー	被災地支援の取組みとして実施予定。2019 年度(第 9 回)は、東日本大震災支援を中心に 29 団体を選定。当協会を通じて各団体へつなぐ寄付金の総額は約 6,600 万円。
Fidelity Asia Pacific Foundation	NPO の基盤整備を目的としたプログラムで 1 団体に寄付金を配布。
株式会社三井住友銀行	社員による寄付プログラムで、コミュニティ・次世代・環境の分野で活動する 15 団体、および社員がボランティアをしている 5 団体に寄付金を配布。
株式会社ファンケル	顧客のポイントを金額換算したものと、社員からの寄付を合算し、みちのく未来基金と全国 10ヶ所の重度心身障がい者施設に寄付。2018 年度(2019 年度実施) 寄付金総額は約 270 万円。
明治安田生命保険相互会社	チャリティー・コンサートの会場で集めた募金を、東北 3 県で「次世代育成」の分野で活動する 6 団体に寄付予定。寄付金総額は 1,328,923 円。 社会貢献活動基金を通じて、児童支援、被災者支援、障がい者・高齢者支援、LGBT 支援、環境保全活動などを行なう 10 団体に寄付予定。選考中。
東京海上日動あんしん生命保険株式会社	社員の給与天引き、代理店でのグッズ販売の一部を難病患児支援団体、認知症啓発団体に寄付。寄付先は前年度より継続。3 団体、寄付金総額は 1,901,000 円。
TOYO TIRE 株式会社	環境基金公募 2 年目。環境問題に携わる団体を公募の上、選考し助成する。1 団体上限 150 万円。助成総額 15,386,000 円(前年より約 300 万円減) 申請団体数:35 団体(前年より 5 団体増) 助成団体数:14 団体(前年より 5 団体減)
ブリティッシュ・アメリカン・タバコ・ジャパン合同会社	北海道胆振東部地震の支援のため社員募金 916,000 円を北海道厚真町で活動する団体に寄付。
株式会社 LIFULL	だれ一人取り残すことなく一人ひとりの“したい暮らし”を応援するための寄付プログラムをスタート。寄付対象は、ドメスティックバイオレンスを受けている人々、虐待を受けている人々、難民、貧困により住生活に困っている人々を支援する団体に対して寄付。9 団体、寄付総額:20,082,228 円。
アメリカン・エクスプレス・インターナショナル・インコーポレーテッド	2016 年熊本地震の復興支援。百貨店オリジナルギフトカードのチャージ金額1%を、公益財団法人熊本 YMCA の「震災復興支援募金」に寄付。2019 年の寄付金額は 122,520 円。
株式会社ゆうちょ銀行	環境分野で住民と共に課題解決に向けた活動をする 13 団体を選定。
株式会社電通アドギア	火災で焼失した首里城の再建支援として従業員募金と会社からの拠出により寄付。

デロイトトーマツコーポレートソリューション合同会社	東日本大震災復興支援の一環として、南三陸町図書館に図書カード寄贈
個人1名	子どもの教育活動を行なう団体への寄付 930,000 円

(2) 個人向け

① 東京海上日動あんしん生命 奨学金制度

- 応募資格等
 - ◆ 疾病により保護者を失った遺児で、経済的理由により支援を必要とし、高等学校等から大学等への進学希望がある方
 - ◆ 応募時における前年度の年間世帯収入金額が、指定の条件を超えない方
- 募集期間:2019年6月3日(月)～2019年10月31日(木)
- 募集人数:60名
- 申請人数:58名(前年より60名減)
- 内定人数:58名
- 給付額:年間 30 万円

② 東京海上日動あんしん生命 幼児教育支援制度

- 応募資格等
 - ◆ 疾病により保護者を失い、経済的理由により支援を必要とする未就学の遺児かつ2014年4月2日～2017年4月1日生まれのお子さまを養育する方
 - ◆ 応募時における前年度の年間世帯収入金額が、指定の条件を超えない方
- 募集期間:2019年6月3日(月)～2019年10月31日(木)
- 募集人数:30名
- 申請人数:10名(前年より3件増)
- 決定人数:10名
- 支援内容:
 - ◆ 株式会社ベネッセコーポレーションの「こどもちゃれんじ」を、年少～年長期間に1年間～最大3年間、無償で提供
 - ◆ 教材提供期間中、進級の際「進級お祝い金」として3万円を給付。
 - ◆ 進学前のランドセル寄贈
 - ◆ 進学お祝い金3万円贈呈

③「誕生日寄付事業」

誕生日という命を授かった日に感謝し、子どもたちの命を守り育てる活動を寄付で応援する取り組み。寄付のプラットフォーム(専用ウェブサイト)を活用し、個人の寄付の実践を促進する。集まった寄付金は、審査委員会を通じて選ばれた団体へ寄贈する。

➢ 実績(2020年3月末現在)

- ◆ 寄付金額 4,334,238 円
- ◆ 寄付者数 157 名

0～9歳	10代	20代	30代	40代
10名	1名	2名	6名	19名
50代	60代	70代	80代	90代
33名	36名	12名	2名	1名

※不明 35 名

※内 3 件 企業の設立記念日の寄付あり。

- ◆ 誕生日登録者数 244名

1月	2月	3月	4月	5月	6月
26名	26名	26名	15名	15名	13名
7月	8月	9月	10月	11月	12月
15名	25名	27名	19名	18名	19名

➤ 発足記念チャリティーパーティー

本事業の拡大策として開催

- ◆ 日時:2019年7月6日(土)18時～21時
- ◆ 会場:東海大学校友会館 阿蘇の間
- ◆ 参加人数:89名
- ◆ 内容:
 - ・寄付先団体からの活動紹介
 - ・シンガーソングライター 加藤 登紀子さんミニコンサート
 - ・チャリティーオークション
- ◆ チャリティーオークション売上:531,500円
オークションの売上は全額団体へ寄付(2020年4月末)。

➤ 寄付・寄贈いただいた法人

【法人】

アートコレクションハウス株式会社
味の素グループ 味の素 AGF 株式会社
王子ネピア株式会社
株式会社共同通信社
株式会社京王プラザホテル
サントリーホールディングス株式会社
シチズン時計株式会社
東急電鉄株式会社
ドーマル・ジャポン株式会社
永島橋本安國法律事務所
公益財団法人日本棋院
公益社団法人日本将棋連盟
株式会社ニュー・オータニ
株式会社ファンケル
合同会社ユー・エス・ジェイ (50音順)

賛同人

瀬戸内 寂聴 小説家・天台宗尼僧
川淵 三郎 公益財団法人日本サッカー協会 相談役
前野 隆司 慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科 教授
米倉 誠一郎 法政大学大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授
渋澤 健 コモンズ投信株式会社 取締役会長
加藤 登紀子 シンガーソングライター
日比野 克彦 東京藝術大学美術学部長
竹川 隆司 東北風土マラソン創始者 実行委員会副実行委員長
岡本 和久 I-O ウェルズ・アドバイザーズ株式会社 代表取締役社長
伊藤 宏一 千葉商科大学 人間社会学部 教授
小宮山 宏 三菱総合研究所 理事長
古賀 良彦 杏林大学 名誉教授
板東 久美子 日本司法支援センター理事長
加賀美 由加里 ドーマル・ジャポン株式会社 会長

土谷 貞雄 株式会社貞雄 代表
 盛田 淳夫 敷島製パン株式会社 代表取締役 社長
 宗次 徳二 株式会社壺番屋 創業者特別顧問
 残間 里江子 プロデューサー
 中村 陽一 立教大学大学院 21 世紀社会デザイン研究科 教授
 澤上 篤人 株式会社さわかみホールディングス 代表取締役

(2020 年 3 月末日現在／敬称略 順不同)

4. フィランソロピー社会基盤整備事業

(1) 個別企業社会貢献推進事業

A. 従業員ボランティア支援事業

①「ボランティアウェブ」利用企業

社名	内容
株式会社 NTTドコモ	2016 年 4 月より通年利用。2020 年 3 月にて終了。
日本ロレアル株式会社	2019 年 5 月末～6 月のプログラムのみの期間限定利用。全世界でのボランティア強化月間のプログラムの受入先調整及び申込受付業務を受託。首都圏 630 名分、大阪 34 名分、名古屋 6 名分を提供。506 名が申込み、468 名が実際に参加。
株式会社ジェーシービー	2011 年より、「JCB 社会貢献プログラム」のボランティア受付管理を「ボランティアウェブ」により継続利用中。4～3 月までの申込者は 1325 名。新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、2 月 18 日以降、持ち帰りプログラム以外のプログラムに従業員が申し込めないように依頼があり、対応している。
サントリーホールディングス株式会社	2017 年 3 月より、社内の「働き方改革」の一環で、「ボランティアウェブ」を利用中。今期よりボランティアウェブとつなげた社内ボランティアサイトを立ち上げ、年 2 回のボランティア推進月間を設けている。
日本たばこ産業株式会社	2019 年 3 月より、通年利用。
株式会社電通	2019 年 4 月より、通年利用。2020 年 3 月にて終了。
株式会社三菱 UFJ 銀行	2019 年 4 月より、通年利用開始。社内、社外含め様々な分野で多様な部門より活発に参加。4 月から 2020 年 3 月末までで、188 名の申し込みがあり、実際には 151 名が参加した。
株式会社 LIFULL	2019 年 7 月より、通年利用。

② 個別コーディネート企業

社名	内容
アクセンチュア株式会社	新入社員研修プログラムや 2019 年度チャリティー・チャレンジプログラムへの協賛・社員ボランティア参加に向け企画内容の協議を開始した。2018 年 9 月から 2019 年 8 月のプログラム参加人数はのべ 978 名。
クーパービジョン・ジャパン株式会社	新規会員検討を前提として、5 月 24 日(金)に、役員・部長クラス 8 名に対して「絵本のシール貼り」プログラム(シヤンティ)を実施。9 月 3 日(火)には本社から全国の拠点をつなぎ、83 名が同プログラムに参加した。
株式会社三菱 UFJ 銀行	社内プログラムを実施。 ・キワニスドールづくり 8 月 20 日(火)49 名参加 ・セカンドハーベスト名古屋 9 月 6 日(金)18 名参加
アステラス製薬株式会社	全国の事業所から依頼を受け、地元でボランティア活動を企画する際のパートナーを調査・推薦する事業を実施。7 月～

	10月までに、のべ12事業所から問合せがあり、のべ34団体を推薦、その内3事業所でボランティア活動が実施された。
大日本印刷株式会社	従業員の被災地ボランティアプログラムの企画および実施を支援。今年度は、7月に37名にて宮城県石巻市(東日本大震災)、9月に23名にて広島県広島市・呉市(西日本豪雨)、10月に22名で熊本県阿蘇郡南阿蘇村、上益城郡益城町(熊本地震)にて、12月に18名で岩手県陸前高田市(東日本大震災)にて実施。

B. 助成支援事業

プログラム名・社名	内容
田辺三菱製薬手のひらパートナープログラム」田辺三菱製薬株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・2018年度活動報告会 2019年10月3日(大阪)、10月7日(東京) ・2019年年度公募 2019年10月1日より受付開始。締切11月15日。 ・応募数:31件 ・採択数:15件(総額1,000万円)
「JT NPO 助成事業」 「JT SDGs 貢献プロジェクト」 日本たばこ産業株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・JT NPO 助成事業の継続応募15件の書類審査を行なう。 ・JT SDGs 貢献プロジェクトが2020年1月15日より開始。 <p>格差是正／災害支援／環境保全の3分野で活動をする団体に助成をするプロジェクトの外部事務局として、立ち上げ準備及び運営支援を行なう。</p>

C. 社会貢献活動支援事業

プログラム名・社名	内容
「国産小麦ゆめちからの栽培研究プログラム」 敷島製パン株式会社	2019年6月16日(日)利根工場(千葉県野田市)にて「工場見学&食料気球自給率を考えるワークショップ」を開催。中高生30名が参加。
「森と紙のなかよし学校」 日本製紙株式会社	日本製紙が所有する菅沼社有林(群馬県利根郡)で小学生親子を対象に行なう環境教育プログラム。第24回を2019年9月7日(土)-8日(日)に実施。11家族30名が参加。
「ボランティア演芸会」 王子ネピア株式会社	業務用大人オムツ等の売上一部の支援により、全国の介護施設で、全日本おむつ団と称する東西10名の落語家による演芸会を56回開催(新型コロナウイルス感染拡大により、3月開催予定の4回が中止となった)。
「森里海つなぐプロジェクト」 東京ガス株式会社	<p>2017年度から開始した、森、里山、海、をつなぐ環境社会貢献活動の全体の支援。有識者を含む運営委員会で進捗確認・意思決定をしながら遂行。</p> <p>6月2日:海の活動として神奈川県海の公園にて「アマモ再生イベント」実施。(東京ガスの職員とその家族47名を含み総勢167名が参加。)</p> <p>11月16日:6月の活動にて採取したアマモの種を育て播く海の活動を実施(東京ガスの職員とその家族40名参加)。</p> <p>8月25日~27日:中学生を対象に、東京都の都心部と里山とをつなぐ活動を実施(中学生9名、高校生・大学生サポーター11名参加)。11月24日報告会開催(120名参加)。</p> <p>2020年2月29日:里の活動として、東京都清瀬市の保全林にて里山保全活動を実施予定していたが新型コロナウイルス感染拡大により中止。</p>

「新入社員研修」 東京海上日動火災保険株式会社	2019年度新入社員 579 名の新入社員研修について全国 13 地域での研修プログラムを作成。新規会場：北海道厚真町、岡山県真備町、山口県山口市 2019年4月22日～25日に実施。
「SAVE SOAPプロジェクト」 アンファー株式会社	「認定特定非営利活動法人 シェア＝国際保健協力市民の会」と協働。衛生教育の一環として石鹼配布、さらに補助として、洗うと絵が浮き上がる絵本も活用し 2018年5月からカンボジア北部のプレアビヒアにて継続して展開している。
フィリップ モリス ジャパン 合同会社	災害復興支援ボランティアの受付業務支援。宮城県名取市、石巻市、岩手県釜石市、愛媛県宇和島市の4会場の受付業務実施。
プルデンシャル ジブラルタ ファ イナンシャル生命保険株式会社	「PGF 生命オープンアカデミー」の運営支援 都内2校での授業実施支援と、2020年度に向けたプログラム企画のための調査を実施。 <授業実施> ・日出学園中学校・高等学校 中学3年生 96名 ・武蔵野大学附属千代田高等学院 高校1年生 71名 <調査実施> ・株式会社みずほフィナンシャルグループ ・株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ
大和ハウス工業株式会社	「エンドレス募金」公募団体の財務状況チェック。 2019年度は15団体を評価。

D.物品寄贈「あげます・もらいます」事業

寄贈時期	企業	寄贈物品	寄贈先 団体数
2019年5月	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	毛糸	1団体
2019年7月	楽天株式会社	タオル、 タンブラー、 マグカップ、 アクセサリー	6団体
2019年7月	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	ハサミ	1団体
2019年8月	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	メモ帳	6団体
2019年8月	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	エプロン	2団体
2019年8月	ジョンソン・エンド・ジョンソン グループ ヤンセンファーマ株式会社	ファイル類	2団体
2019年8月	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	デスクライト	2団体
2019年8月	ジョンソン・エンド・ジョンソン グループ アクテリオン ファーマシューティカルズ ジャパン株式会社	文具類	5団体
2019年9月	株式会社 J-オイルミルズ	自社商品	1団体
2019年9月	株式会社インフォメーション・ディベロプメント	お米・絵本	1団体

2019年12月	楽天株式会社	楽天オリジナルグッズ	3団体
2020年3月	株式会社J-オイルミルズ	文房具	9団体
2020年3月	アステラス製薬株式会社	タオル	1団体

(2)被災地復興支援事業

A.サントリー・チャレンジド・アスリート

①第6期「チャレンジド・アスリート奨励金」

7月より公募開始。個人、団体に総額約3,600万円給付(個人約1,500万円、団体約2,100万円)。今期よりアスリートのみならず指導者に転身した方も含め審査した。今回で最後となる。2020年1月30日(木)に岩手県、宮城県、福島県にて記者発表実施した。

申請数

	個人	団体
岩手県	12(6減)	9(1減)
宮城県	32(1増)	14(3減)
福島県	13(5減)	7(1減)

給付数

	個人	団体
岩手県	9(2減)	6
宮城県	24(2増)	9(1減)
福島県	13(4減)	6(2減)

6期まで個人部門のべ294名、団体部門のべ129団体、計約2億600万円を給付した。

<審査員> 3名

福留 史朗氏(パラリンピアン:陸上、一般社団法人日本パラリンピアンズ協会 理事)

増子 恵美氏(パラリンピアン:車椅子バスケットボール、

一般社団法人日本パラリンピアンズ協会 理事)

高橋 陽子(公益社団法人日本フィランソロピー協会 理事長)

②「チャレンジド・スポーツアカデミー」～アスリートビジット～

チャレンジド・スポーツに対する子どもたちの理解を深めるため、チャレンジド・

アスリートなどが3県の学校を訪問し、講演や車椅子バスケットボール体験会などを実施。

・アスリートビジット

開催日	実施会場	生徒数
2019年 5月16日	宮城県東松島市立矢本第一中学校	177名
6月25日	福島県富岡町立富岡第一小学校	16名
7月11日	岩手県岩泉町立岩泉中学校	90名
9月13日	宮城県松島町立松島第五小学校	20名
10月11日	福島県立ふたば未来学園	80名
10月30日	岩手県普代村立普代小学校	23名
2020年 2月3日	福島県三春町立中妻小学校	54名

・チャレンジド・スポーツ体験教室

学校ではなく公募によりチャレンジド・スポーツの体験会を実施。本年は岩手県にて開催。

開催日	実施会場	参加者数	実施競技
2019年 8月4日	夢アリーナたかた (岩手県陸前高田市)	110名	陸上(レーサー)、ボッチャ、 車椅子バスケットボール、 卓球バレー、ウィルチェアラグビー、 アンプティサッカー *卓球バレー大会も同時開催。

③「チャレンジド・スポーツ育成サポート」

チャレンジド・スポーツ育成のため、基盤強化・環境整備などを支援。本年より各県にて車椅子導入教室を実施し、障害者スポーツのすその拡大に向けた講座を実施する。

車椅子導入教室

開催日	実施会場	参加者数	講師
2019年 4月20/21日	盛岡市立乙部体育館 ふれあいランド岩手	12名 30名	橋本大佑氏 (ドイツ障害者スポーツ連盟公認 リハビリテーションスポーツ 指導者)
7月21日	宮城県多賀城市総合体育館	21名	橋本大佑氏 (ドイツ障害者スポーツ連盟公認 リハビリテーションスポーツ 指導者)

C. チャリティーチャレンジ・プログラム 2019

2018年まで中高生を中心に、被災地支援事業の一環として取り組んできたチャリティー・リレーマラソンを、今年度は、ワークショップ型プログラムに変更し実施した。

特別協賛: EY新日本有限責任監査法人

協賛: アクセンチュア株式会社、株式会社 ジェーシービー、株式会社ブリヂストン

助成: 公益財団法人 JKA

<プログラム>

➤ 被災地スタディツアー

東日本大震災発災後、復興のために誰が何をどのようにし、どういうことが起きているのかを学び、時系列で誰が取り残されているのか、なぜ取り残されたのかを考える。将来的な時間軸でも考える。考えた課題を東京ワークショップのディスカッションテーマとした。

- ◆ 期間: 2019年5月11日～12日
- ◆ 場所: 石巻市、女川町
- ◆ 参加者: 56名(東京都、千葉県、宮城県、福島県の中高生、大学生ボランティア、企業ボランティア)
- ◆ 協力: 女川町長 須田善明氏、石巻日日こども新聞 太田倫子氏

➤ 東京ワークショップ

5月に気づいた課題について、中高生ができることを考え、活動すると同時にユニバーサル運動会などで新たな気づきを得、最終日に自分たちは何をすべきか、また、自分は何をするか、を発表した。

- ◆ 期間: 2019年7月13日～15日
- ◆ 場所: 東京都内

- ◆ 参加者:100名(東京都、千葉県、宮城県、福島県、熊本県からの中高生、大学生ボランティア、企業ボランティア)
- ◆ 協力:EY 新日本有限責任監査法人、株式会社ブリヂストン、アクセンチュア株式会社、東京大学、石巻日日こども新聞 太田倫子氏

➤ **西日本豪雨被災地視察ツアー**

2018年の西日本豪雨被災地であり、かつ原爆の記憶を伝える活動を70年続けている広島にて、災害の記憶を伝えることについて考える。

- ◆ 期間:2019年11月16日～17日
- ◆ 場所:広島市安芸郡坂町、広島市(平和記念公園)
- ◆ 参加者:32名(東京都、宮城県、福島県、熊本県からの中高生、大学生ボランティア)
協力:ひろしまNPOセンター

(3) **コンサルティング事業**

郡山市農福連携推進モデル構築事業

福島県郡山市(農林部 園芸畜産振興課)からの受託事業

- ◆ 目的:農業と福祉の両分野が連携することにより、農業分野における労働力の確保、生産力の維持、福祉分野における障がい者等の活躍の場の拡大及び自立支援を図る
- ◆ 履行期間:2019年8月～2021年3月末(3年間)
- ◆ 受託金額:8,800,000円(2019年度)
- ◆ 活動状況:
 - 初年度テーマ:農福連携の実現に向けた課題抽出と参加農家・福祉団体など拡充
 - ★就労弱者(障がい者、引きこもり)の施設外就農体験の実施(課題抽出のためのテストケース)
 - ・協力団体の抽出と調整
 - ・テスト就農の実施
 - 8農家、9福祉団体を抽出。3農家、4団体で26名の就労弱者(障がい者、ニート・引きこもり)がテスト就農実施。
 - ★「ノウフクフォーラムふくしま」開催(市民、関係団体向け)
 - ・関係団体への周知と事業参加者の確保(農業、福祉双方)
 - 約150名(農業関係 約20名、福祉関係 約60名、行政・その他 約40名、講師・スタッフ 約30名)
 - ★ジョブコーチ育成プログラム作成
 - ・国(農水省)との連携を模索
 - ・先進地視察研修の実施(3事例)
 - 埼玉福興(株)(埼玉県熊谷市)(9月)、京丸園(株)(静岡県浜松市)(12月)
 - なないろ畑(神奈川県大和市)(2月)

Ⅲ. 共生社会創造事業(公益目的事業 3)

1. 共生社会づくり推進事業

(1) フィランソロピー名刺事業

フィランソロピー普及と障がい者の経済的自立のための名刺制作事業。

1 件:100 枚

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度
制作件数	333	356	348	308	376

(2)「企業の学校教育・青少年教育支援活動に関する調査」報告書

次世代教育のための学校・企業連携を促進することを目的に実施したアンケート調査の報告書を発行(B5 版 92 ページ 製作協力費 1,000 円)

2. 次世代育成事業

(1) 寄付推進事業(「寄付育」)

地域課題を題材にした課題解決学習を通して、子どもたちの「生きる力」を育てる教育機会を創出、普及する事業。日本フィランソロピー協会は、事業設計の相談、寄付先候補団体の推薦、校外での依頼状配布・募金活動のサポートを実施した。

- ・実施校・対象学年・人数:東京都杉並区立杉並和泉学園 9 年生(中学 3 年生)55 名
- ・期間:2019 年 6 月～9 月 14 時間+贈呈式
- ・概要:今年度は、杉並区ボランティアセンターのスタッフより、杉並区での社会課題に対する活動についての講話をしてもらいほか、日本フィランソロピー協会より推薦した 3 団体のプレゼンテーションと生徒によるディスカッションを経て、生徒たちが杉並区内で子ども食堂を運営する団体への寄付を決定した。商店街で実施した募金活動により、273,545 円の寄付金が集まり高円寺こども食堂、ころころ食堂への寄付が行なわれた。

(2) 学校運営支援

中学校が主に 2 年生を対象とする「職場体験学習」を受け入れる団体として、会員企業を紹介した。

- ・実施校・対象学年・人数:東京都江東区立深川第二中学校 2 年生 2 名
- ・実施企業:NEC ソリューションイノベータ株式会社
- ・期間:2019 年 8 月 27 日(火)～29 日(木)
- ・概要:ICT 企業の仕組みだけでなく、「障がい者」をテーマとし、聴覚障がい者である担当者を中心に、生徒たちは障がい者について、また地域の障がい者福祉団体・施設が同社を訪れて実施する月 1 回のマルシェの手伝いを通して、企業と障がい者との関係について学んだ。

(3) 次世代育成事業

2018 年まで中高生を中心に、被災地支援事業(公2)の一環として取り組んできたチャリティー・リレーマラソンを、今年度は、次世代育成の視点(公3)を盛り込み、ワークショップ型プログラムに変更し実施した。プログラムを、「中高生たちが被災地の現状を学び、未来に向かって誰も取り残さないために何をすべきかを考える」をテーマに再構成し、公益財団法人 JKA の助成金を有効に活用した。

(4) インターンシップ受入れ

これからの社会貢献活動を担う次世代の育成を目的として、2019年度も、積極的にインターンシップ受け入れに取り組んだ。8月参加校、専修大学(1名)武蔵野大学(2名)、文京学院大学(1名)

IV. 会員の推移

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
正会員	33	29	27	26	25
賛助会員(法人)	81	88	93	101	102
法人計	114	117	120	127	127
賛助会員(個人)	83	88	91	94	84

《正会員》

■退会 1社

- ・リーフラス株式会社

《賛助会員》

■入会 8社

- ・東急株式会社
- ・ジブラルタ生命保険株式会社
- ・株式会社LIFULL
- ・株式会社共同通信社
- ・クーパービジョン・ジャパン株式会社
- ・株式会社電通アドギア
- ・明治ホールディングス株式会社
- ・有限会社椎名洋ラン園

■退会 7社

- ・株式会社NTTデータ
- ・株式会社ゆうちょ銀行
- ・富士ゼロックス株式会社
- ・ロート製薬株式会社
- ・株式会社レオパレス21
- ・MSD株式会社
- ・ファイザー株式会社

2019年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2020年5月
公益社団法人日本フィランソロピー協会

2020年度(令和2年度)事業報告書

2020年(令和2年)4月1日～2021年(令和3年)3月31日

公益社団法人日本フィランソロピー協会

I. 社会貢献啓発事業（公益目的事業 1）

1. 機関誌の頒布事業

当協会の活動報告とともに、社会の課題を抽出し特集として企画・編集している。
2020年度の実績は以下の通り。

2020年度	特 集
No. 397（4月号）	サーキュラー・エコノミーが拓く未来
No. 398（6月号）	コロナ禍の中で光を与えるメディアの役割
No. 399（8月号）	「現実世界」と「デジタル世界」がつながることで新しい未来を拓く
No. 400（10月号）	「寄付」のススメ～見えない相手を想像し応援する～
No. 401（12月号）	フィランソロピーのプラットフォーム
No. 402（2月号）	SDGs 時代のお寺の役割

2. インターネットを利用した情報提供事業

当協会の活動をはじめ、企業の社会貢献・CSR情報の提供、NPO・NGO団体の活動最新情報を発信。

- (1) メールマガジン（毎月1日・15日配信 配信数約6,500件）
- (2) 当協会WEBサイト情報更新。
- (3) 理事長ブログ（2018.9.20～）第27回まで掲載。
- (4) (1)(2)を補完する情報発信源として、SNS(Facebook、Twitter)を利用。協会をより身近に感じてもらう事の出来るトピックを選び、職員全員で情報を掲載。
<https://www.facebook.com/philanthropy.or.jp>、<https://twitter.com/JPNphilanthropy>
- (5) 動画アプリ「1Ro11」を導入し、2020年2月～12月までの間に100本の短時間動画（30～60秒）を作成しホームページ、SNS（YouTube、Facebook、Twitter等）での発信を行う予定だった。しかしコロナ禍で取材が制限されるなどあり、現在までに24本を配信。
- (6) Zoomを使った会員企業向けのオンライン座談会開催（「今、企業にできること～オンライン座談会～」）＜4月24日実施＞10社限定。
その後、「企業による『NPO緊急支援に向けたニーズ学習会』」を全10回開催。
- (7) 新型コロナウイルス感染拡大に伴う緊急アンケートを企業、非営利団体に実施。
企業91社、非営利団体334団体から回答。特設ページにて公開。

II. 社会貢献促進事業（公益目的事業 2）

1. 研修事業

(1) 定例セミナー

年度の初めは新任のCSR担当者も多いことから、今年度は5月より5回シリーズで「CSR基礎講座2020」を開講した。全てオンラインでの実施。

開催回 開催日	テーマ／講師	参加 人数
第367回 2020.5.15	CSR基礎講座I「SDGs経営時代のCSRとは」 ＜講師＞関 正雄氏（損害保険ジャパン株式会社 CSR室 シニアアドバイザー、 明治大学 経営学部 特任教授）	44名

第 368 回 2020. 5. 27	CSR 基礎講座Ⅱ「CSR 担当者としての留意点 ABC」 〈講師〉相良 有希子氏（阪急阪神ホールディングス株式会社 サステナビリティ推進部 課長） 川島 裕子氏（大日本印刷株式会社 CSR・環境部 ビジネス企画推進グループ）	30 名
第 369 回 2020. 6. 4	CSR 基礎講座Ⅲ「社員ボランティアが望む CSR 担当者像」 〈講師〉山崎 直子氏（UBS 証券株式会社 ウェルス・マネジメント本部 東京第一営業本部 部長）	28 名
第 370 回 2020. 6. 29	CSR 基礎講座Ⅳ「NPO/行政とのパートナーシップで、ESG・SDGs への取り組みを進めるために」 〈講師〉川北 秀人氏（IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表）	25 名
第 371 回 2020. 7. 15	CSR 基礎講座Ⅴ「新たなステージを迎える ESG 投資と SDGs～企業にとっての意義～」 〈講師〉荒井 勝氏（NPO 法人日本サステナブル投資フォーラム 会長）	25 名
第 372 回 2020. 7. 28	「マッチングギフト・アンケート報告～導入企業の取り組みに学ぶ～」 〈講師〉前田 淳氏（キューピー株式会社 広報・グループコミュニケーション室 社会・食育チーム 担当課長） 櫻井 真理子氏（株式会社リコー サステナビリティ推進本部 社会環境室 CSV 推進グループ） 藤田 晋太郎氏（ロート製薬株式会社 広報 CSV 推進部 ESH 地域連携推進室 室長）	26 名
第 373 回 2020. 9. 23	「企画実現への道程～企業の実例に学ぶ～」 〈講師〉楠田 倫子氏（日本ロレアル株式会社 バイス プレジデント、コーポレートコミュニケーション本部長） 藤内 省吾氏（日本たばこ産業株式会社 たばこ事業本部 渉外企画室 次長）	42 名
第 374 回 2020. 10. 15	「共感資本主義を求めて～アダム・スミスに学ぶ」 〈講師〉堂目 卓生氏（大阪大学総長補佐、社会ソリューションイニシアティブ長 大学院経済学研究科教授）	11 名
第 375 回 2020. 11. 17	「統合報告書に学ぶ～価値創造ストーリーの「見える化」の課題～」 〈講師〉能勢 恵美氏（MS & AD インシュアランスグループホールディング株式会社 広報・IR 部 課長） 内田 晴子氏（キリンホールディングス株式会社 CSV 戦略部 主務） 丹野 直紘氏（キリンホールディングス株式会社 CSV 戦略部 主務） 川北 秀人氏（IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表）	43 名
第 376 回 2020. 12. 18	「社員ボランティア活動を支えるしくみづくり～社員も企業も成長する機会を絶やささない～」 〈講師〉荻原 さや氏（サントリーホールディングス株式会社 コーポレートサステナビリティ推進本部 コーポレートブランド戦略部） 江草 未由紀氏（住友商事株式会社 サステナビリティ推進部 社会貢献チーム 100SEED プログラムリーダー）	39 名
第 377 回 2021. 1. 19	「日本列島型サーキュラーエコノミーとは？～日本の歴史・風土・文化から俯瞰して考える～」 〈講師〉伊藤 宏一氏（千葉商科大学 人間社会学部 教授）	9 名
第 378 回 2021. 2. 17	「社員ボランティア活動を支えるしくみづくり 第 2 弾 実効性を高めるためのワークショップ」 〈講師〉前田 考歩氏（プロジェクトエディター）	14 名
第 379 回 2021. 3. 19	「今後の東北復興支援と東北の未来について考える～3 社の新たな取り組み事例を参考に～」 〈講師〉佐藤 彌右衛門氏（会津電力株式会社 取締役会長） 箕輪 憲良氏（ソフトバンク株式会社 CSR 本部 CSR 部 環境・チャリティ課 課長） 野口 功一氏（PwC コンサルティング合同会社 常務執行役 パートナー）	20 名

2. 顕彰事業

第18回企業フィランソロピー大賞

<スケジュール>

2020年5月20日(水)	公募開始
2020年9月1日(火)	公募締切
2020年9月18日(金)	第1次選考委員会(審査案件数35件)
2020年10月～11月	訪問審査ヒアリング(ヒアリング件数10件)
2020年12月4日(金)	第2次選考委員会
2020年12月下旬	贈呈先企業の発表
2021年2月19日(金)	贈呈式(学士会館)

※贈呈式は受賞企業のみでの参加で行い、式典の様子はオンライン配信を実施した。
配信は録画をし、期間限定公開した。

<選考委員>

委員長	國部 克彦氏	(神戸大学 副学長/経営学研究科 教授)
委員	井手 明子氏	(住友商事株式会社 社外取締役)
	佐藤 雄二郎氏	(株式会社共同通信社 取締役副会長)
	渋澤 健氏	(コモンズ投信株式会社 取締役会長)

◆企業フィランソロピー大賞

エーザイ株式会社	(東京都文京区)
城南信用金庫	(東京都品川区)

◆企業フィランソロピー賞

【安心を届ける手のひら賞】	株式会社大垣共立銀行	(岐阜県大垣市)
【資源の循環賞】	KDDI株式会社	(東京都千代田区)
【森林の守り人賞】	コクヨ株式会社	(大阪市)
【想いをつなぐスイーツ賞】	株式会社シュゼット・ホールディングス	(兵庫県西宮市)
【海を渡る100万足賞】	株式会社そごう・西武	(東京都千代田区)
【防災の見はり番賞】	TOA(ティーオーエー)株式会社	(神戸市)

3. フィランソロピー・バンク事業(個人寄付普及事業)

(1) 企業の従業員および顧客参画寄付事業

【NPO向け】

社名	内容
アメリカン・エクスプレス・ インターナショナル・ インコーポレイテッド	熊本地震の被災者支援のため、ギフトカードの売上げに応じた寄付を実施。寄付先1団体。 寄付総額61,370円
株式会社ファンケル	顧客のポイントを金額換算したものと、社員からの寄付を合算し、みちのく未来基金と全国10ヶ所の重度心身障がい者施設に寄付。 2019年度(2020年度実施)寄付金総額2,550,363円。
明治安田生命保険相互会社	チャリティー・コンサートの会場で集めた募金を、東北3県で「次世代育成」の分野で活動する6団体に寄付。 寄付金総額1,328,923円。 社会貢献活動基金を通じて、児童支援、被災者支援、障がい者・高齢者支援、環境保全活動などを行なう10団体に寄付。寄付金総額2,875,000円。

株式会社ジェーシービー	被災地支援の取り組みとして実施。2020年度（第10回）で最後となる。東日本大震災および令和2年7月豪雨被災地で支援活動を行う23団体に寄付。寄付金総額46,505,638円。
株式会社ゆうちょ銀行	環境分野で住民と共に課題解決に向けた活動をする13団体に寄付金を配布。寄付総額6,500,000円。
SMB Cグループ 新型コロナウイルス対策支援募金	新型コロナウイルスの感染拡大による影響を受けた人々への支援活動に取り組む5団体に寄付金を配布。
Fidelity Asia Pacific Foundation	NPOの基盤整備を目的としたプログラムで4団体に寄付金を配布。
株式会社三井住友銀行 ボランティア基金	社員による寄付プログラムで、コミュニティ・次世代・環境の分野の団体、新型コロナウイルスの影響により困難を抱える人々への支援をする団体、および社員が継続的にボランティアをしている団体、合計20団体に寄付金を配布。
TOYO TIRE 株式会社	環境基金の寄付を担当。環境問題に携わる団体を公募の上、選考し助成する。21団体から申請を受付。10団体に決定。
株式会社 LIFULL	だれ一人取り残すことなく一人ひとりの“したい暮らし”を応援するための寄付プログラムをスタート。寄付対象は、ドメスティックバイオレンスを受けている人々、虐待を受けている人々、難民、貧困により住生活に困っている人々を支援する団体に対して寄付。11団体に寄付。寄付総額10,000,000円。
東京海上日動あんしん生命保険 株式会社	社員の給与天引き、代理店でのグッズ販売の一部を難病患児支援団体、認知症啓発団体に3団体に寄付。寄付総額1,560,500円
(新規) 東京海上日動火災保険株式会社	従業員による募金制度、東京海上日動 Share Happiness 倶楽部の実施。8団体に寄付。寄付総額2,425,500円。
(新規) 株式会社ブリヂストン	ブリヂストンのグローバルCSR体系「Our Way to Serve」の3つの重点領域「Mobility（モビリティ）」、「People（一人ひとりの生活）」、「Environment（環境）」に該当し、SDGsの達成などに向けた社会課題の解決に取り組む団体・事業に同社の従業員募金制度であるBSmile募金を通じ助成する。13団体から申請を受け付け、2団体に助成決定。助成総額2,000,000円。
(新規) 日本ロレアル株式会社	経済的に困難な女性を支援するNPOへ従業員の募金による寄付。4団体への寄付と相当額の商品を寄贈。寄付総額882,000円。

【個人向け】

東京海上日動あんしん生命保険株式会社

① 奨学金制度

- 応募資格等：疾病等により保護者を失い大学等への進学に経済的支援を必要とする方
- 募集期間：2020年6月～2020年10月
- 募集人数：60名
- 申請人数：86名
- 支援内容：奨学金として年間30万円を給付

② 幼児教育支援制度

- 応募資格等：
 - ・ 疾病により保護者を失い、経済的理由により支援を必要とする未就学の遺児かつ2013年4月2日～2016年4月1日生まれの幼児の養育者
 - ・ 応募時における前年度の年間世帯収入金額が指定の条件を越えない者
- 募集期間：2020年6月～2020年10月

- 募集人数：30名
- 採用人数：3名
- 支援内容：
 - ・株式会社ベネッセコーポレーションの「こどもちゃれんじ」を一定期間無償で提供
 - ・教材提供期間中、進級の際「進級お祝い金」として年間3万円を給付
 - ・進学前のランドセル寄贈
 - ・進学お祝い金3万円贈呈

(2) 個人の寄付推進事業

【誕生日寄付事業】

➤ 実績

- ◆ 寄付金額（第2期）：4,969,632円（2020年6月～2021年3月）
寄付金額（第1期）：10,839,715円（2019年1月～2020年5月）
- ◆ 寄付者数（第2期）：181名（2020年6月～2021年3月）
寄付者数（第1期）：235名（2019年1月～2020年5月）
- ◆ 誕生日登録者数（第2期）：182名（2020年6月～2021年3月）
誕生日登録者数（第1期）：268名（2019年1月～2020年5月）

- 会員企業と協働した事業促進策（コースリレーテッドマーケティング）を開始（2020.10月～）
 - ・有限会社椎名洋ラン園のミニ胡蝶蘭の販売ごとに一部を誕生日寄付
販売鉢数：73鉢 寄付実績：87,705円

4. フィランソロピー社会基盤整備事業

(1) 個別企業社会貢献推進事業

A. 従業員ボランティア支援事業

① 「ボランティアウェブ」利用企業

社名	内容
株式会社ジェシービー	2011年より「JCB社会貢献プログラム」のボランティア受付管理を「ボランティアウェブ」により継続利用中。新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、2月18日以降、自社で設定する活動以外に従業員が申し込めないように依頼があり、対応している。 2020年8月～11月まで感染症対策を行って会議室プログラムを再開した。2021年1月よりオンラインプログラムのコーディネートを行い実施。
サントリーホールディングス株式会社	2017年3月より社内の「働き方改革」の一環で「ボランティアウェブ」を利用。ボランティアウェブとつなげた社内ボランティアサイトを立ち上げ、年2回のボランティア推進月間を設けている。「水と生きる」「人と響きあう」にちなんだ活動を強化している。在宅プログラムの推進とともに、オンラインセミナーを実施。
日本たばこ産業株式会社	2019年3月より通年利用。社内のボランティア活動の展開を再検討するため2020年12月末日で利用休止。
株式会社三菱UFJ フィナンシャル・グループ	2020年4月から契約先が三菱UFJ銀行より三菱UFJフィナンシャル・グループに変更。グループ会社全体でボランティアウェブを活用中。グループのボランティア活動とボランティアウェブの活用を推進するため準備中。
株式会社LIFULL	2019年7月より通年利用。緊急事態宣言明けに向けプログラムなど検討中。

(新規) パナソニック株式会社	2020年4月より利用開始したが、コロナ禍により一旦休止し10月から在宅ボランティアプログラムの募集のみ実施。
--------------------	---

*コロナ禍でのボランティア活動が縮小されているため在宅でもできるプログラムを紹介する在宅マッチングサイト立ち上げ、ボランティアウェブの一環として推進中。

個別コーディネート企業

社名	内容
アクセンチュア株式会社	新型コロナウイルスの影響下で行えるボランティア活動について提案。2020年6月～8月にかけてオンラインでの手作業系ボランティアを4回実施。2020年9月から新たなボランティアメニューを提案し実施の調整を行った。
アステラス製薬株式会社	患者会の安定的・持続的な組織づくりができる人材を育成することを目的とした「患者会 次世代リーダー育成のための Leadership Training Program」の企画・開発。

B. 助成支援事業

プログラム名・社名	内容
日本たばこ産業株式会社 「JT NPO 助成事業」 「SDGs 貢献プロジェクト」	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度 JT NPO 助成事業の助成先 44 団体の報告書の精査を行う（新規）。 ・2020年1月に開始した格差是正・災害支援・環境保全の分野で活動する団体に助成をする SDGs 貢献プロジェクトの一次書類審査、及び外部事務局として運営事務を行った。
田辺三菱製薬株式会社 「田辺三菱製薬手のひらパートナープログラム」	<ul style="list-style-type: none"> ・2019年度活動報告会 2020年10月22日開催（オンライン） ・2020年度公募 募集期間：2020年10月15日～11月15日 応募数：23件 採択数：14件（総額874万円）

C. 社会貢献活動支援事業

大和ハウス工業株式会社	従業員募金「エンドレス募金」寄付先団体の推薦
(新規)クラシエホールディングス株式会社	従業員募金寄付先団体の推薦
「森里海つなぐプロジェクト」 東京ガス株式会社	<p>2017年より森里海をつなぐ各地の環境社会貢献プロジェクトを実施。持続可能な暮らしとまちづくりを目指す。原資は、東京ガスの顧客からのポイント寄付 735,800円分を含み同社が拠出。</p> <p>*助成プログラム：NPO法人等の環境保全活動を資金的に支援し、保全活動の推進を図る。</p> <p>*寄付金プログラム：1団体あたり20万円を6団体に寄付。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助成プログラム：「森」「里」「海」のそれぞれで活躍する団体が対象。 「森」中学生の林業を通じた体験学習 2020年度は中止 「里」東京都との協働プログラム「東京グリーンシップ・アクション」で、従業員・地域住民が、間伐・落ち葉掃きに参画 2020年度は中止 「海」アマモ場の再生活動（協力 NPO 法人海辺つくり研究会）アマモ花枝採取（5月24日、6月6日）NPOスタッフのみで実施。 アマモ種まき活動（11月29日）NPOスタッフ・同社従業員・JPAスタッフ参加

プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命保険 株式会社	オンラインセミナー登壇 NPO 団体の推薦
---------------------------------------	-----------------------

D. 物品寄贈「あげます・もらいます」事業

寄贈時期	企業	寄贈物品	寄贈先 団体数
2020年4月	アステラス製薬株式会社	マスク	1団体
2020年5月	株式会社阪急阪神ホテルズ	スチームコンベクション	1団体
2020年6月	株式会社 J-オイルミルズ	自社商品	9団体
2020年6月	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	スクラブ	2団体
2020年7月	三菱地所株式会社	クリアファイル	3団体
2020年7月	株式会社 I Dホールディングス	お菓子	1団体
2020年9月	株式会社 J-オイルミルズ	自社商品	6団体
2020年11月	ジョンソン・エンド・ジョンソン グループ ヤンセンファーマ株式会社	ボールペン ノートパッド	20団体
2021年3月	富士電機株式会社	CD	5団体
2021年3月	株式会社 J-オイルミルズ	自社商品	5団体

(2) 被災地復興支援事業

A. サントリー・チャレンジド・アスリート

①第6期「チャレンジド・アスリート奨励金」

2020年末で終了予定だったが、コロナウイルス感染拡大のため奨励金の活用期間 2021年末までと延長した。それによる受給団体・個人へのフォローを実施。

②「チャレンジド・スポーツアカデミー」～アスリート・ビジット～

チャレンジド・スポーツに対する子どもたちの理解を深めるため、チャレンジド・アスリートなどが3県の学校を訪問し、講演や車椅子バスケットボール体験会などを実施。

開催日	実施会場	生徒数
2020年11月13日	福島県いわき市立平第三中学校*	199名
2020年11月25日	福島県矢祭町立矢祭小学校	25名

*競技用車いすの貸し出しと運営サポートを実施

③「チャレンジド・スポーツ育成サポート」

チャレンジド・スポーツ育成のため、基盤強化・環境整備などを支援。
車椅子導入教室

開催日	実施会場	参加者数	講師
2020年 8月8日、9日	ふれあいランド岩手	10名	橋本 大佑氏 (ドイツ障害者スポーツ連盟公認 リハビリテーションスポーツ指導者)
2021年3月6日	宮城県多賀城市 総合体育館	12名	橋本 大佑氏 (ドイツ障害者スポーツ連盟公認 リハビリテーションスポーツ指導者)

B. みらいチャレンジプログラム

サントリーグループの東日本復興支援「サントリー東北サンさんプロジェクト」の一環として、2021年2月より新規スタート。岩手県、宮城県、福島県の地域の再興を目指して新たな活動を立ち上げようという個人・団体の活動を奨励金という形で支援する。

3年間の実施、年間3,000万円の給付総額予定。

(3) コンサルテーション事業

郡山市農福連携推進モデル構築事業

郡山市（農林部 園芸畜産振興課）からの受託事業

目的： 農業と福祉の両分野が連携することにより、農業分野における労働力の確保、生産力の維持、福祉分野における障がい者等の活躍の場の拡大及び自立支援を図る

履行期間： 2019年8月～2021年3月末 今期は2年目に相当

受託金額： 10,593,000円（2020年度）

活動実績：

㊦2年目テーマ：

指導者の育成等による農福連携体制の構築と試験運用の実施

福祉事業所との連携コーディネーション実施

参加農家3農家、参加候補農家7農家

参加事業所 障がい者支援団体9団体、ニート・引きこもり支援団体1団体

㊧ウェブ活用によるマッチングシステムを構築

「農作業日報」機能のテスト使用開始（10月～）

㊨学校給食への食材提供の試行（1校10月）

㊩本事業の定着・拡大に向けた市民サポーター育成カリキュラム開発を開始

㊪先進事例視察

日時：2020年10月28～29日

行先：兵庫県淡路景観園芸学校

参加者：農家1名、コーディネーター団体1名、日本フィランソロピー協会3名

㊫啓発活動

「ふくしま農福連携を盛り上げよう！応援講演会」開催

日時：2021年3月9日

会場：郡山市中央公民館

参加者：108名（会場参加49名 オンライン参加59名）

講演者：①吉田 行郷氏（農林水産政策研究所次長）

「これからの農福連携の展望と可能性」

②村木 厚子氏（元国勢労働事務次官 津田塾大学客員教授）

「みんなが活躍できる共生社会を目指して」

Ⅲ. 共生社会創造事業（公益目的事業3）

1. 共生社会づくり推進事業

(1) フィランソロピー名刺事業

フィランソロピー普及と障がい者の経済的自立のための名刺制作事業。

1件：100枚

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2021年 3月末
制作件数	356	348	308	376	115

2. 次世代育成事業

(1) 公益財団法人 JKA 補助事業

「2020年度 児童、高齢者、障がいのある人が相補的に関わることのできる地域共生型社会づくりを促進する活動、調査・研究等 補助事業」（新規）

【事業内容】

① オンライン編

SDGs時代のソーシャル・リーダーシップ研修 「社会課題の真実に飛び込む！」

参加人数：25名

内容：

<第1回>ケーススタディ1

日時：2021年1月30日（土）10:00～12:00

テーマ：足元にある“多様性”を活かすために～外国ルーツの子ども支援のリアル～

講師：海老原 周子氏 一般社団法人 kuriya 代表理事

<第2回>ケーススタディ2

日時：2021年2月6日（土）10:00～12:00

テーマ：引きこもり・非行からの再出発のために～若者支援のリアル～

講師：井村 良英氏 特定非営利活動法人育て上げネット 若年支援事業マネージャー／キャリア
アコンサルタント

<第3回>ケーススタディ3

日時：2021年2月13日（土）10:00～12:00

テーマ：子どもの『貧・困』“点”から“面”へのアプローチ～子ども支援のリアル～

講師：西川 日奈子氏 特定非営利活動法人 西淀川子どもセンター 前代表

<第4回>ケーススタディ4

日時：2021年2月20日（土）10:00～12:00

テーマ：仕事づくりと暮らしづくりの新たなモデル創出へ～生活困窮者支援のリアル～

講師：川口 加奈氏 特定非営利活動法人 Homedoor 代表理事

江田 初穂氏 特定非営利活動法人 抱樸（ほうぼく） 総務部長

<特別企画①>

日時：2021年2月27日（土）10:00～12:00

テーマ：“好奇心”と“恩返し”から始まるソーシャルリーダーシップ

講師：横田 宗氏 特定非営利活動法人アクション 代表

<特別企画②>

日時：2021年3月6日（土）10:00～12:00

テーマ：「元・引きこもり当事者の経験にふれる」
ゲスト：元・ひきこもり当事者のOさん
井村 良英氏 第2回講師
特定非営利活動法人育て上げネット 若年支援事業マネージャー／キャリアコンサルタント

<第4回>まとめとワークショップ
日時：2021年3月13日（土）10:00～12:00
テーマ：ボランティア活動に活かすソーシャルリーダーシップ
講師：山崎 直子氏 公益社団法人日本フィランソロピー協会/合同会社Noks labo 代表

- ② 鎌倉編
「誰ひとり取り残さない」SDGsを実現するために～障がい者のリアルに飛び込む～
鎌倉トークセッション
日時：2020年11月21日（土） 13:30～16:30
会場：臨済宗円覚寺派 浄智寺 書院
参加人数：25名
内容：
・ゲストからの活動紹介
・質疑応答、ディスカッション
・まとめ
講師：
高野 朋也氏 株式会社 i-link-u（アイリンクユー）代表（鎌倉武士）
竹内 弓乃氏 特定非営利活動法人 ADDS 共同代表
伊藤 良師氏 認定特定非営利活動法人 Ocean's Love スクール事業 統括責任者

【プログラム検討委員】

- ① オンライン編
・合同会社NOKS LABO 代表 山崎 直子氏
・NPO法人ホームドア 代表理事 川口 加奈氏
・NPO法人育て上げネット 井村 良英氏
・NPO法人抱樸 江田 初穂氏
・一般社団法人kuriya 代表 海老原 周子氏

- ② 鎌倉編
・かまくら駅前蔵書室 代表／鎌倉経済新聞 編集長 鈴木 章夫氏
・寄り道キャリア 主宰 西山 貴子氏（モモハラ リン）
・人材開発デザイン 代表 佐久間 芳之氏

- (2) チャリティームービー事業【中高生によるチャリティームービープロジェクト】
2020年度は、コロナ禍において奮闘するNPOを応援すること、および、中高生への寄付育を取り入れた、「中高生によるチャリティームービープロジェクト-コロナに負けるな！NPO支援-」をオンラインで実施。NPOの現状を学び、85秒の動画を制作、特設サイト等で寄付を呼び掛け、総額2,134,441円となった。

<参加者>

中学生・高校生 70名（参加地域：宮城県、福島県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、大阪府、広島県、福岡県、マレーシア）
プロジェクトアドバイザー1名、企業ボランティア7名、学生サポーター4名

<応援するNPO>

NPO法人アスイク（宮城県仙台市）
NPO法人移動支援 Rera（宮城県石巻市）
NPO法人ポラリス（宮城県山元町）
認定NPO法人多摩草むらの会（東京都多摩市）
認定NPO法人日本クリニックラウン協会（大阪府大阪市）

〈プロジェクト実施期間〉

2020年8月8日（土）～2021年1月23日（土）

〈寄付金募集期間〉

2020年11月9日（月）～2021年1月18日（月）

〈協賛〉

株式会社ジェーシービー、ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ、株式会社ブリヂストン

〈協力〉

NECソリューションイノベータ株式会社、サントリーホールディングス株式会社、ソフトバンク株式会社、株式会社電通アドギア、東京経済大学藤井ゼミ（Project Based Learning）、華為技術日本株式会社

IV. 会員数の推移

	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度	2021年 3月末現在
正会員(法人)	29	27	26	25	20
賛助会員(法人)	88	93	101	102	103
賛助会員(個人)	88	91	94	84	79

V. 法人会員の入退会(種別変更含む)

※は種別変更

会員種別	入会	退会
正会員		(5社) ・株式会社NTTドコモ ・有限会社企業市民総合研究所 ・Fideriy International Foundation ・日本たばこ産業株式会社※ ・味の素株式会社※
賛助会員	(6社) ・株式会社ゆうちょ銀行 ・株式会社ユニバーサルサービス ・日本生命保険相互会社 ・ハウス食品グループ本社株式会社 ・日本たばこ産業株式会社※ ・味の素株式会社※	(5社) ・永島橋本安國法律事務所 ・H.U. グループホールディングス株式会社 ・アズビル株式会社 ・日本オラクル株式会社 ・クオンツ・リサーチ株式会社

2020年度（令和2年度）事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2021年(令和3年)5月
公益社団法人日本フィランソロピー協会

2021 年度(令和 3 年度)事業報告書

2021 年(令和 3 年)4 月 1 日～2022 年(令和 4 年)3 月 31 日

公益社団法人日本フィランソロピー協会

I. 社会貢献啓発事業(公益目的事業 1)

1. 機関誌の頒布事業

当協会の活動報告とともに、社会の課題を抽出し特集として企画・編集している。2021年度の実績は以下の通り。

2021年度	特 集
No.260(4 月号)	フィランソロピー始動 30 周年記念号
No.261(6 月号)	プラスチックは叫ぶ「地球が危ない！」
No.262(8 月号)	今こそ“読書の夏”
No.263(10 月号)	障がい者という枕詞を超えて、アートを深掘りする
No.264(12 月号)	スイーツで心も体も幸せに
No.265(2 月号)	教育格差のリアルに迫る

2. フィランソロピー始動 30 周年記念冊子の発行及びシンポジウム・フォーラムの開催

【冊子概要】

- ・タイトル『共感革命～フィランソロピーは進化する～』
- ・四六判、209 ページ
- ・部数：2000 部
- ・発行：公益社団法人日本フィランソロピー協会
- ・制作・発売：中央公論事業出版

【フィランソロピー始動 30 周年記念シンポジウム・フォーラム】

総合テーマ：『健全な民主主義社会におけるフィランソロピーの今後の役割』

記念シンポジウム（会場：学士会館及びオンライン配信）

開催日	内容	参加者数
2021 年 10 月 21 日 (木) 14：00～ 17：00	第一部 基調講演：『これからの民主主義社会創造のために』 平野啓一郎氏（小説家） 第二部 パネルディスカッション テーマ：『社会課題解決・新たな価値創造のために経済はどう貢献すべきか』 パネリスト：渋澤 健氏 (シブサワ・アンド・カンパニー株式会社 代表取締役) ：熊野 英介氏 (アマタホールディングス株式会社 代表取締役) モデレータ：河口 眞理子氏（立教大学特任教授）	会場 34 名 オンラ イン 151 名

記念フォーラム（全 3 回、15：00～17：00、オンライン開催）

開催日	内容	参加者数
第 1 回 2021 年 11 月 17 日 (水)	テーマ：『組織の中で個人を生かす』 協会活動紹介：『企業従業員のためのボランティアマッチング』 パネルディスカッション パネリスト：嵯峨 生馬 氏 (認定 NPO 法人サービスグラント 代表理事) ：濱松 誠 氏 (ONE JAPAN 共同発起人・共同代表) モデレータ：長島 剛 氏 (多摩大学 経営情報学部教授)	90 名

第2回 2021年 12月16日 (木)	テーマ：誰も取り残さない社会の実現に向けて 協会活動紹介：農福連携事業 パネルディスカッション パネリスト：村木 厚子 氏 (津田塾大学客員教授、元厚生労働事務次官) ：井村 良英 氏 (認定 NPO 法人育て上げネット) モデレータ：野澤 和弘 氏 (植草学園大学副学長(教授)、毎日新聞客員編集委員)	117名
第3回 2022年 1月20日 (木)	テーマ：個人の寄付文化醸成に向けて 協会活動紹介：誕生日寄付 パネリスト：奥田 知志 氏 (認定 NPO 法人抱樸 理事長、東八幡キリスト教会 牧師) ：米良 はるか 氏 (READYFOR 株式会社 代表取締役 CEO) モデレータ：山田 泰久 氏 (一般財団法人非営利組織評価センター 業務執行理事)	132名

3. インターネットを利用した情報提供事業

当協会の活動をはじめ、企業の社会貢献・CSR 情報の提供、NPO・NGO 団体の活動最新情報を発信

- (1) メールマガジン(毎月1日・15日配信 配信数約7,000件)
- (2) 当協会 WEB サイト情報更新
- (3) 理事長ブログ(2018.9.20～)第32回まで掲載
- (4) (1)(2)を補完する情報発信源として、SNS(Facebook、Twitter)を利用、協会をより身近に感じてもらふ事の出来るトピックを選び、職員全員で情報を掲載
<https://www.facebook.com/philanthropy.or.jp>、<https://twitter.com/JPNphilanthropy>
- (5) 動画アプリ「1Roll」を導入し、2020年度に引き続き短時間動画(30～60秒)を作成し、ホームページ、SNS(Youtube、Facebook、Twitter等)での発信を行う

II. 社会貢献促進事業(公益目的事業2)

1. 研修事業

(1) 定例セミナー

年度の初めは新任のCSR担当者も多いことから、今年度は4月より3回シリーズで「CSR基礎講座2021」を開講。全てオンラインでの実施。

開催日	内容	参加人数
第380回 2021年 4月23日	CSR基礎講座2021第1回 「SDGs経営時代のCSRとは」 講師：関 正雄氏(損害保険ジャパン株式会社 サステナビリティ推進部 シニアアドバイザー、明治大学経営学部特任教授)	33名
第381回 2021年 5月20日	CSR基礎講座2021第2回 「ソーシャルファイナンス、投資と寄付の根っこは同じ」 講師：河口 眞理子氏(不二製油グループ本社株式会社 CEO 補佐)	24名
第382回 2021年 5月27日	CSR基礎講座2021第3回 「ANAグループにおけるビジネスと人権の取り組みについて」 講師：菊池 俊介氏(ANAホールディングス株式会社 サステナビリティ推進部 マネジャー)	27名

第 383 回 2021 年 6 月 23 日	「パリ協定で始まった脱炭素時代に企業が実施すべき環境保護活動」 講師：山岸 尚之氏（公益財団法人世界自然保護基金ジャパン 気候エネルギー・海洋水産室長）	12 名
第 384 回 2021 年 7 月 19 日	「ショウガイシャってなに？アートとデザインを起爆剤にした企業や社会とのコラボレーション」 講師：Laila Cassim（ライラ・カセム）氏（一般社団法人シブヤフォン ト アートディレクター 東京大学先端科学技術研究センター 特任助教）	9 名
第 385 回 2021 年 9 月 16 日	「企業連携で社会課題を解決するには～連携の先進事例に学ぶ～」 講師：宮原 伸朗氏（アマタホールディングス株式会社 未来デザイングループ グループリーダー）	11 名
第 390 回 2022 年 2 月 21 日	「広がれ 深まれ 食支援の輪～世間の多様化に即した地域・セクター間の連携事例に学ぶ」 講師：平野 覚治氏（一般社団法人全国食支援活動協力会 専務理事） 長迫 和宏氏（北九州市戸畑区役所 総務企画課） 長谷部 敏朗氏（公益財団法人キューピーみらいたまご財団 事務局長）	12 名
第 391 回 2022 年 3 月 23 日	企業従業員の社会参加意識についての調査結果報告会 ～7 社 1,626 名へのアンケート調査結果から～ 講師：松本 祐一氏（多摩大学 経営情報学部・総合研究所所長 特定非営利活動法人 NPO サポートセンター代表理事） 長島 剛氏（多摩大学 経営情報学部・総合研究所副所長）	37 名

※第 386 回、第 387 回、第 388 回、第 389 回は 30 周年記念シンポジウム・フォーラムとして実施(P1、P2 参照)

2. 顕彰事業

第 19 回企業フィランソロピー大賞

社会問題に真摯に向き合い、自社の経営資源を活かして、経営理念に沿った社会貢献活動や価値創造を実践する企業を顕彰することで、企業 CSR 経営の普及・啓発につなげる。

<スケジュール>

2021 年

5 月 20 日（木） 公募開始
9 月 1 日（水） 公募締切
9 月 17 日（金） 第 1 次選考委員会
10 月～11 月 訪問審査ヒアリング
12 月 3 日（金） 最終選考委員会
12 月下旬 贈呈先企業の発表

<贈呈先企業>

◆ 企業フィランソロピー大賞 サラヤ株式会社（大阪市）
◆ 企業フィランソロピー賞
《ソーシャルプリンティング賞》 株式会社 大川印刷（横浜市）
《おなか一杯幸せ賞》 西海みずき信用組合（長崎県佐世保市）
《種まきセンチュリー賞》 住友商事株式会社（東京都千代田区）
《絵本は心の薬賞》 日本新薬株式会社（京都市）
《未来をひらく女性賞》 メットライフ生命保険株式会社（東京都千代田区）

<贈呈式>

新型コロナウイルス感染拡大により、開催日を延期

【変更前】2022 年 2 月 14 日（月） 贈呈式 於：学士会館（東京都千代田区）

【変更後】2022 年 5 月 16 日（月）

<選考委員>

委員長 國部 克彦氏 (神戸大学大学院 経営学研究科教授)
 委員 井手 明子氏 (東北電力株式会社、住友商事株式会社 社外取締役)
 佐藤 雄二郎氏 (株式会社共同通信社 顧問)
 渋澤 健氏 (コモンズ投信株式会社 取締役会長)

※肩書は 2021 年度末時点のもの

3. フィランソロピー・バンク事業 (個人寄付普及事業)

(1) 企業の従業員および顧客参画寄付事業

【NPO 向け】

社名	内容
株式会社ファンケル	顧客のポイントを金額換算したものと、社員からの寄付を合算し、東日本大震災遺児奨学基金の「みちのく未来基金」と全国の重度心身障がい者施設 15 団体を選定。
明治安田生命保険相互会社	チャリティー・コンサートの会場で集めた募金および社会貢献活動基金として集めた募金による寄付事業の 2019 年度、2020 年度、2021 年度事業の管理。 2020 年度にチャリティー・コンサートの会場で集めた募金を、東北 3 県で「次世代育成」の分野で活動する 3 団体に 2021 年度寄付するための諸手続き。寄付金総額 282,918 円。
株式会社ジェーシービー	「5」のつく日。JCB で復興支援の寄付事業について、2018 年度、2019 年度、2020 年度事業の管理。
株式会社ゆうちょ銀行	環境分野で住民と共に課題解決に向けた活動をする 13 団体に寄付金を配布。寄付総額 6,500,000 円。
TOYO TIRE 株式会社	環境基金の寄付を担当。環境問題に携わる団体を公募の上、選考し助成する。 寄付金総額 12,653,300 円を 13 団体に寄付予定(3 月)。
株式会社 LIFULL	だれ一人取り残すことなく一人ひとりの“したい暮らし”を応援するための寄付プログラムをスタート。寄付対象は、DV を受けている人々、虐待を受けている人々、難民、貧困により住生活に困っている人々を支援する団体に対して寄付。 寄付金総額 11,995,000 円を 10 団体に寄付。
株式会社ブリヂストン	ブリヂストンのグローバル CSR 体系「Our Way to Serve」の3つの重点領域「Mobility (モビリティ)」、「People (一人ひとりの生活)」、「Environment (環境)」に該当し、SDGs の達成などに向けた社会課題の解決に取り組む団体・事業に同社の従業員募金制度である BSmile 募金を通じ助成する。 寄付金総額 8,758,430 円を 9 団体に寄付。
東京海上日動あんしん生命保険株式会社	社員の給与天引き、代理店でのグッズ販売の一部を難病患者支援団体、認知症啓発団体に寄付。寄付先は前年度より継続の 3 団体。
東京海上日動火災保険株式会社	従業員による募金制度、東京海上日動 Share Happiness 倶楽部の実施。寄付金総額 2,355,960 円を 8 団体に寄付。
日本ロレアル株式会社	経済的に困難な女性を支援する NPO へ従業員の募金による寄付。4 団体への寄付と相当額の商品を寄贈。寄付総額 1,248,000 円

(2) 個人の寄付推進事業

【誕生日寄付事業】

■実績

第3期である今年度は、172名より3,476,154円の寄付があった。また、有限会社椎名洋ラン園と協働している「誕生日寄付 with Flowers」の寄付金は37,424円であったため、合計3,513,578円となった。

	期間	寄付金額	寄付者数	誕生日寄付登録者数
第1期	2019.1月～2020.5月	10,839,715円	235名	268名
第2期	2020.6月～2021.3月	4,969,632円	181名	182名
第3期	2021.4月～2022.3月	3,513,578円	172名	86名
合計		19,322,925円	588名	536名

第3期の寄付金3,513,578円は、17%の運営費597,308円を差し引いた2,916,270円を、2022年4月末日に、次のとおり3カテゴリー6団体に配布。

カテゴリー	寄付先団体	配布予定の寄付額
生きるを支える	一般社団法人若草プロジェクト	627,774円
	社会福祉法人カリオン子どもセンター	627,774円
育ちを支える	特定非営利活動法人TEDIC	389,260円
	認定特定非営利活動法人ポケットサポート	389,260円
支える人を支える	特定非営利活動法人ふるすあるは	441,101円
	特定非営利活動法人しぶたね	441,101円
合計		2,916,270円

4. フィランソロピー社会基盤整備事業

(1) 個別企業社会貢献推進事業

A. 従業員ボランティア支援事業

① 「ボランティアウェブ」利用企業

社名	内容
株式会社ジェーシービー	2011年より、「JCB社会貢献プログラム」のボランティア受付管理を「ボランティアウェブ」により継続利用中。コロナ禍にて自社で設定する活動のみ掲載し募集。5月以降に実施する新規オンラインプログラムを企画、提案。
サントリーホールディングス株式会社	2017年3月より、社内の「働き方改革」の一環で、「ボランティアウェブ」を継続利用中。ボランティアウェブとつなげた社内ボランティアサイトを立ち上げ、年2回のボランティア推進月間を設けている。「水と生きる」「人と響きあう」にちなんだ活動を強化している。在宅プログラムの推進とともに、オンラインセミナーを実施。オンラインセミナー団体の推薦も行った。
株式会社三菱UFJ フィナンシャル・グループ	三菱UFJフィナンシャル・グループ全体でボランティアウェブを活用中。
株式会社LIFULL	2019年7月より、通年利用継続。
パナソニック株式会社	2020年利用開始。現在は、在宅ボランティアプログラムの募集のみ実施中。

第一三共株式会社(新規)	2021年4月より利用開始。今後全国各地でのボランティア活動推進をする。
株式会社ブリヂストン(新規)	2021年5月より利用開始。BSmile 募金との連携を視野に活用している。
富士通株式会社(新規)	2021年7月より利用開始。
積水ハウス株式会社(新規)	2021年7月より利用開始。従業員募金制度「積水ハウスマッチングプログラム」と連携し、過去の寄付先情報を掲載し、従業員のコメント機能も追加し活用している。
カルビー株式会社(新規)	2021年8月より利用開始。社内ですでに実施しているプログラムを掲載し、ボランティア活動を推進している。
ジョンソン・エンド・ジョンソン日本法人グループ(新規)	2021年9月より利用開始。
オリンパス株式会社(新規)	2021年10月より利用開始。社内への啓発と利用促進のため2021年12月にオンラインセミナーを開催。高橋理事長が講師として登壇した。
アサヒグループジャパン株式会社(新規)	2022年1月より利用開始。社内ボランティアサイトと連携し活用している。

個別コーディネート企業

社名	内容
アクセンチュア株式会社	オンラインで行えるボランティア活動や講演会企画にさまざまなテーマで団体を推薦。4月以降、毎月1~2回のペースで行われるイベントの企画・運営をサポート。
クーパービジョンジャパン株式会社	8月のボランティア月間に、視覚障害者支援のためのオンライン音声ガイドづくりを実施。

B. 助成支援事業

プログラム名・社名	内容
「SDGs 貢献プロジェクト」 日本たばこ産業株式会社	格差是正・災害分野・環境保全の分野で活動をする団体の事業に助成をする SDGs 貢献プロジェクトの外部事務局として運営事務を行う。
「田辺三菱製薬手のひら パートナープログラム」 田辺三菱製薬株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・8期(2020年度)助成事業 活動報告会開催(2021年10月26日オンライン) ・10期(2022年度)助成事業の審査 公募期間 2021年10月15日~11月15日。 助成先確定(16団体)
アステラス製薬株式会社	患者会助成事業の審査。

C. 社会貢献活動支援事業

プログラム名・社名	内容
「患者会 次世代リーダー育成のための Leadership Training Program」 アステラス製薬株式会社	患者会の安定的・持続的な組織づくりを可能にする人材を育成することを目的とした企画・開発。6月、9月、翌1月の計3回の研修会を企画し、オンラインで実施。
「森里海つなぐプロジェクト」 東京ガス株式会社	2017年度から開始した、森、里山、海をつなぐ環境社会貢献活動の支援。8月の森の活動はコロナ禍で中止。里山の活動は清瀬松山緑地保全地域(東京都清瀬市)で2月26日に実施。

	海の活動は6月13日アマモの花枝採取(千葉県木更津市)、11月27日アマモ種まき(横浜市)をスタッフで実施した。NPOへの寄付プログラム(20万円の寄付)を4団体に対して実施した(3月)。
「プロロジス就活応援奨学金」 プロロジス株式会社(新規)	児童養護施設等から進学し就職を目指す学生のための給付型奨学金「プロロジス就活応援奨学金」の支援を行った。公募に向けた資料準備、関係団体等への告知、申請者審査を実施した。15名の申請があり、10名に給付予定で審査中。
「エンドレス募金」 大和ハウス工業株式会社	従業員募金「エンドレス募金」寄付先団体の推薦
「しるしの日募金」 クラシエホールディングス株式会社	従業員募金「しるしの日募金」寄付先団体の推薦
プルデンシャル ジブラルタ ファイナンシャル生命保険株式会社	オンラインセミナー登壇 NPO 団体の推薦

D. 物品寄贈「あげます・もらいます」事業

寄贈時期	企業	寄贈物品	寄贈先団体数
2021年4月	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	ボールペン ノート サーモスポトル モバイルチャージャー コットンポーチ バッグハンガー	13 団体
2021年5月	三菱地所株式会社	レインコート	4 団体
2021年6月	ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社	文具	3 団体
2021年7月	富士通株式会社	クリアファイル	2 団体
2021年7月	株式会社電通デジタル	事務用品	11 団体
2021年8月	楽天グループ株式会社	クリアファイル	3 団体
2021年8月	住友商事株式会社	防災毛布	11 団体
2021年8月	富士通株式会社	事務用品	5 団体
2021年8月	一般社団法人ゼブラ社会貢献支援協会	シャープペン ボールペン	3 団体
2021年9月	富士通株式会社	アイクール	4 団体
2021年9月	株式会社 J-オイルミルズ	自社商品	6 団体
2021年9月	株式会社電通デジタル	事務用品	14 団体
2021年10月	楽天グループ株式会社	ボール スマホグッズ トートバッグ キーチェーン	8 団体
2021年11月	ジョンソン・エンド・ジョンソン グループ ヤンセンファーマ株式会社	文具	11 団体
2021年11月	オーシャンネットワーク エクスプレスジャパン株式会社	マスク カラートレー	7 団体

2021年12月	富士通ハーモニー株式会社	パイプ式ファイル	3団体
2021年12月	富士通株式会社	バインダークリップ 目玉クリップ	6団体
2022年1月	アクセンチュア株式会社	不織布マスク アルコール除菌ジェル	6団体
2022年1月	富士通株式会社	防災備品	1団体
2022年1月	一般社団法人ゼブラ社会貢献支援協会	ボールペン	3団体
2022年2月	住友商事グローバルメタルズ株式会社	事務用品	4団体
2022年2月	三菱地所株式会社	タブレット	14団体
2022年3月	富士通株式会社	給茶備品 事務用品	1団体
2022年3月	株式会社 J-オイルミルズ	自社商品	4団体

E. 企業従業員の社会参加に関するアンケート調査

企業従業員の社会参加を促進する手がかりを得るため、1月から2月にかけて、会員企業を対象にアンケート調査を実施。7社の参加があり、1626件の回答を得られた。7社は、アマタホールディングス株式会社、カルビー株式会社、株式会社 J-オイルミルズ、住友金属鉱山株式会社、フィリップモリスジャパン合同会社、株式会社プロロジスおよび匿名の1社。その結果についての報告会をオンラインで3月23日に実施した。会社の用意した社会参加プログラムへの参加度合いとプライベートでの社会参加プログラムへの参加度合いをもとに分析したところ、4タイプに分けることができ、それぞれへの適切な対応の仕方も異なることが分かった。そして、新たな魅力のあるプログラムを用意することで、参加を促せる可能性があることなどが分かった。

タイプ	特徴
積極層	会社中心にプライベートでも様々な社会参加を行っている層
バランス層	それぞれでバランスよく活動している層
潜在層	会社のプログラムにはほとんど参加していないが、プライベートでは活動している層
不参加層	どちらもほとんど参加していない層

(2)被災地復興支援事業

A. サントリー・チャレンジド・アスリート

第6期「チャレンジド・アスリート奨励金」

2020年末で終了予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大のため奨励金の活用期間を2021年末までと延長した。それによる受給団体・個人へのフォローを実施。2021年もコロナ禍で活動のできない受給団体・個人からの要請があり、活用期間を再延長した。

B. みらいチャレンジプログラム

サントリーグループの東日本大震災復興支援「サントリー東北サンさんプロジェクト」の一環として、2021年2月より新規スタート。岩手県、宮城県、福島県の地域の復興を目指して新たな活動を立ち上げようという個人・団体の活動を奨励金という形で支援する。3年間の実施予定。

第1回申請数 329件 岩手県 13団体、宮城県 14団体、福島県 13団体、計 40団体に給付。総額約 4,000万円。

第2期を2022年3月8日より公募開始。

(3) コンサルテーション事業

郡山市農福連携推進モデル構築事業

郡山市からの受託事業(担当部署:農林部 園芸畜産振興課)

- ・目的: 農業と福祉の両分野が連携することにより、農業分野における労働力の確保、生産力の維持、福祉分野における障がい者等の活躍の場の拡大及び自立支援を図る
- ・履行期間: 2019年度～2021年度
- ・受託金額: 10,593,000円(2021年度・税込み)

<活動状況>

① 農福連携に向けた農業参画機会の創出

ア 農業者及び障がい福祉サービス事業所等への周知、啓発活動(説明会等)

2021年11月11日(木) まどか菜園 従業員向け個別説明会(参加者:従業員13名他)

2022年2月16日(水) 希望ファーム ピーマン作業振り返り

イ 農業体験の実施(新規の事業内容及び新規参画者(農業者及び福祉サービス事業所等)に対して実施すること)

2020年度に引き続き、以下の活動を実施。11事業所が参加し、その他、数事業所が体験・見学。

- ・まどか菜園での露地栽培(ニンジン、カブ等)
- ・希望ファームでの露地栽培(ピーマン等)、ハウス栽培(春菊等)
- ・菅野ファームでのブドウ栽培
- ・新規トライアルとして、きゅうりのつるおろし栽培法の体験

ウ 先進事例等の研修会の実施(講演会等)

3月11日(金)～12日(土)に、社会福祉法人白鳩会(鹿児島県)を視察

② 指導者の育成等による農福連携体制の構築

ア 農業者と障がい福祉サービス事業所のマッチングのしくみを構築

- ・電子日報の本格導入、SNSを利用した農家と福祉事業所の連絡網を活用
- ・須賀川の事業所等、他地域へのアプローチの実施

イ 農福連携コーディネーターの育成

- ・OJTによる指導

ウ 農作業指導体制の確保(ジョブコーチ等人材の育成及びマニュアルの作成等)

「農業就労サポーター育成研修」のトライアル実施 郡山市のサポーター候補8名

配信講座(6時間) 1月18日(火)～31日(月)

実地研修(郡山市) 2月1日(火)

座学研修(郡山市) 3月2日(水)

◇研修の開発は自主事業として実施。

Ⅲ. 共生社会創造事業(公益目的事業3)

1. 共生社会づくり推進事業

(1) フィランソロピー名刺事業

フィランソロピー普及と障がい者の経済的自立のための名刺制作事業。

1件:100枚

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
制作件数	348	308	376	115	164

※新型コロナウイルスの影響による発注減

(2)公益財団法人 JKA 補助事業

「2021 年度 児童、高齢者、障がいのある人が相補的に関わることのできる地域共生型社会づくりを促進する活動、調査・研究等 補助事業」(継続)

【目的】

思い込みを取り払った多様なボランティア活動の紹介により、SDGsの目的である「誰も取り残されない社会」創りへの道筋を示す。ボランティア活動の普及や、これまで異分野とされていたことの共通項に目を向けることでボランティアと受益者の裾野を広げる。

【事業内容】

(1)プログラム検討委員会(NPO 代表者、企業の CSR 担当者など)

(2)開催方法:オンライン

(3)連続セミナー

第 1 回 一般社団法人若草プロジェクト

内容:若年女性支援からみえてきたこと～若草プロジェクトの活動を通して～

日時:2021 年 10 月 25 日(月)19:00～19:45

講師:村木 厚子 氏 一般社団法人若草プロジェクト 代表よびかけ人 元厚生労働事務次官

第 2 回 特定非営利活動法人スマイルオブキッズ

内容:病気の子どもと家族への支援からみえてきたこと～家族のための滞在施設とは～

日時:2021 年 11 月 10 日(水)18:00～18:45

講師:谷畑 育子 氏 特定非営利活動法人スマイルオブキッズ 事務局長

第 3 回 特定非営利活動法人 子どもセンターてんぼ

内容:居場所のない 10 代後半の子どもへの支援について～子どもシェルターてんぼの活動を中心に～

日時:2021 年 11 月 24 日(水)18:00～18:45

講師:特定非営利活動法人 子どもセンターてんぼ 子どもシェルターてんぼ ホーム長

第 4 回 NPO 法人しぶたね

内容:病気や障がいのある子どもの「きょうだい」を応援する～子どもが「子ども」でいられるように～

日時:2021 年 11 月 30 日(火)18:00～18:45

講師:清田 悠代 氏 NPO 法人しぶたね 理事長

第 5 回 NPO 法人モンキーマジック

内容:多様性を認め合うことのできるより豊かな社会のために～クライミングができること～

日時:2021 年 12 月 17 日(金)18:00～18:45(17:45 開場)

講師:小林 幸一郎 氏 NPO 法人モンキーマジック 代表理事

第 6 回 認定 NPO 法人プール・ボランティア

内容:水の世界もバリアフリーに！～障害者も健常者もともに楽しめるプールを実現したい～

日時:2022 年 1 月 14 日(金)18:00～18:45(17:45 開場)

講師:岡崎 寛 氏 認定 NPO 法人プール・ボランティア 理事長

織田 智子 氏 認定 NPO 法人プール・ボランティア 事務局長

第 7 回 特定非営利活動法人 TEDIC

内容:子どもの包括的支援とその課題～宮城・石巻での実践から考える～

日時:2022 年 2 月 7 日(月)18:00～18:45(17:45 開場)

講師:鈴木 平 氏 特定非営利活動法人 TEDIC 代表理事

第 8 回 特定非営利活動法人多文化共生センター東京

内容:外国にルーツを持つ子どもたちの学び～多文化共生センターの活動を通して～

日時:2022年2月24日(木)18:00~18:45(17:45開場)

講師:栢木 典子 氏 特定非営利活動法人多文化共生センター東京 代表理事

(4)ウェブサイト作成

(5)講演録作成

2. 次世代育成事業

久里浜少年院 社会貢献活動

参加者:在院生12名

協 力:有限会社椎名洋ラン園

内 容:(1)ビデオレクチャー 2021年9月10日(金)

(2)在院生による蘭の栽培

(3)開花した蘭の寄贈式 2021年12月2日(木)

寄贈先:神奈川県立こども医療センター

特定非営利活動法人スマイルオブキッズ

社会福祉法人誠心会 しらかば子どもの家(児童養護施設)

IV.会員の推移

	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度
① 法人正会員	27	26	25	20	18
② 法人賛助会員	93	101	102	103	106
法人会員合計	120	127	127	123	124
③ 個人賛助会員	91	94	84	79	78

※法人賛助会員106社の内、株式会社アデランス、三井物産株式会社2社は休会中

V.会員の入退会(種別変更含む)

会員種別	入会及び種別変更	退会及び種別変更
正会員		① 王子ネピア株式会社 ② シティグループ・ジャパン・ホールディングス株式会社(種別変更)
賛助会員	① 株式会社プロロジス ② オリパス株式会社 ③ オーシャンネットワークエクスプレスジャパン株式会社 ④ 株式会社ジャックス ⑤ シティグループ・ジャパン・ホールディングス株式会社(種別変更) ⑥ アストラゼネカ株式会社	① 株式会社ティップネス ② ENEOS株式会社 ③ ハーベスト株式会社

2021 年度（令和 3 年度）事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2022 年(令和 4 年)5 月
公益社団法人日本フィランソロピー協会

貸借対照表

(2020年 3月31日現在)

公益社団法人 日本フィランソロピー協会
一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	41,867,012	38,711,784	3,155,228
普 通 預 金	41,080,305	38,224,217	2,856,088
郵 便 貯 金	786,707	487,567	299,140
未 収 金	22,114,971	11,759,424	10,355,547
前 払 費 用	3,585,086	1,621,174	1,963,912
立 替 金	146,586	278,650	△ 132,064
仮 払 金	40,200	150,000	△ 109,800
貯 蔵 品	281,636	333,812	△ 52,176
流動資産合計	68,035,491	52,854,844	15,180,647
2. 固定資産			
(1) 基 本 財 産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特 定 資 産			
役員退任慰労引当資産	14,875,000	14,075,000	800,000
職員退職給付引当資産	4,095,200	4,666,000	△ 570,800
受取寄付金資産	113,042,053	131,874,993	△ 18,832,940
受取助成金資産	0	15,590,400	△ 15,590,400
普及啓発事業等積立資金	42,600,033	46,791,580	△ 4,191,547
特定資産合計	174,612,286	212,997,973	△ 38,385,687
(3) そ の 他 固 定 資 産			
建 物 附 属 設 備	6	3,285	△ 3,279
什 器 備 品	97,117	145,663	△ 48,546
ソ フ ト ウ ェ ア	3,693,523	3,118,316	575,207
電 話 加 入 権	4	4	0
その他固定資産合計	3,790,650	3,267,268	523,382
固定資産合計	178,402,936	216,265,241	△ 37,862,305
資産合計	246,438,427	269,120,085	△ 22,681,658
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	5,009,683	10,291,502	△ 5,281,819
前 受 金	234,075	9,946,194	△ 9,712,119
仮 受 金	640,000	500,000	140,000
預 り 金	793,474	1,623,535	△ 830,061
未 払 消 費 税 等	4,505,200	2,359,400	2,145,800
賞 与 引 当 金	2,894,000	2,571,500	322,500
流動負債合計	14,076,432	27,292,131	△ 13,215,699
2. 固定負債			
役員退任慰労引当金	14,875,000	14,075,000	800,000
職員退職給付引当金	4,095,200	4,666,000	△ 570,800
固定負債合計	18,970,200	18,741,000	229,200
負債合計	33,046,632	46,033,131	△ 12,986,499
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	113,042,053	147,465,393	△ 34,423,340
指定正味財産合計	113,042,053	147,465,393	△ 34,423,340
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(113,042,053)	(147,465,393)	(△ 34,423,340)
2. 一般正味財産	100,349,742	75,621,561	24,728,181
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(42,600,033)	(46,791,580)	(△ 4,191,547)
正味財産合計	213,391,795	223,086,954	△ 9,695,159
負債及び正味財産合計	246,438,427	269,120,085	△ 22,681,658

正味財産増減計算書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取員会費	23,702,000	22,955,200	746,800
正会員受取会費	10,200,000	10,560,000	△ 360,000
賛助員受取会費	13,502,000	12,395,200	1,106,800
事業収入	104,715,746	94,604,640	10,111,106
1. 社会貢献啓発事業収入	258,475	252,838	5,637
2. 社会貢献促進事業収入	103,228,920	93,304,285	9,924,635
3. 共生社会創造事業収入	1,228,351	1,047,517	180,834
受取助成金	18,092,652	25,235,278	△ 7,142,626
受取雑収入	280,110,036	230,487,249	49,622,787
受取雑収入	3,117	2,545	572
受取雑収入	2,617	2,545	72
受取雑収入	500	0	500
経常収益計	426,623,551	373,284,912	53,338,639
(2) 経常費用			
事業費	389,816,424	355,909,043	33,907,381
(公1 社会貢献啓発事業費)	10,911,022	9,029,532	1,881,490
役員退任慰労引当金繰入	1,400,000	1,400,000	0
職員退職給付引当金繰入	100,000	100,000	0
職員退職給付引当金繰入	0	20,000	△ 20,000
賞与引料	0	△ 125,000	125,000
給臨時利厚交議運搬費	2,514,996	2,424,996	90,000
給臨時利厚交議運搬費	0	22,500	△ 22,500
給臨時利厚交議運搬費	664,576	673,978	△ 9,402
給臨時利厚交議運搬費	658,056	493,527	164,529
給臨時利厚交議運搬費	36,915	14,432	22,483
給臨時利厚交議運搬費	389,656	453,322	△ 63,666
給臨時利厚交議運搬費	1,237,907	53,112	1,184,795
給臨時利厚交議運搬費	242,185	127,220	114,965
給臨時利厚交議運搬費	1,560,967	1,531,547	29,420
給臨時利厚交議運搬費	40,270	43,455	△ 3,185
給臨時利厚交議運搬費	1,027,738	997,829	29,909
給臨時利厚交議運搬費	120,294	117,981	2,313
給臨時利厚交議運搬費	291,281	212,485	78,796
給臨時利厚交議運搬費	610,737	458,784	151,953
給臨時利厚交議運搬費	15,444	9,364	6,080
給臨時利厚交議運搬費	0	0	0
(公2 社会貢献促進事業費)	369,258,030	326,391,505	42,866,525
役員退任慰労引当金繰入	4,880,000	4,700,000	180,000
職員退職給付引当金繰入	430,000	370,000	60,000
職員退職給付引当金繰入	1,203,056	1,378,230	△ 175,174
賞与引料	0	70,000	△ 70,000
給臨時利厚交議運搬費	352,500	△ 105,000	457,500
給臨時利厚交議運搬費	28,941,026	27,494,818	1,446,208
給臨時利厚交議運搬費	2,208,484	1,790,000	418,484
給臨時利厚交議運搬費	5,684,602	5,548,597	136,005
給臨時利厚交議運搬費	25,997,613	35,369,792	△ 9,372,179
給臨時利厚交議運搬費	822,087	1,478,237	△ 656,150
給臨時利厚交議運搬費	820,454	799,647	20,807
給臨時利厚交議運搬費	1,159,684	491,378	668,306
給臨時利厚交議運搬費	742,861	706,086	36,775
給臨時利厚交議運搬費	146,867	158,483	△ 11,616
給臨時利厚交議運搬費	3,748,219	3,639,142	109,077
給臨時利厚交議運搬費	905,350	731,567	173,783
給臨時利厚交議運搬費	89,916	63,262	26,654
給臨時利厚交議運搬費	8,240,151	11,882,805	△ 3,642,654
給臨時利厚交議運搬費	231,364,226	184,442,091	46,922,135
給臨時利厚交議運搬費	35,751,624	36,579,504	△ 827,880
給臨時利厚交議運搬費	6,168,060	3,455,541	2,712,519
給臨時利厚交議運搬費	8,800,580	4,629,969	4,170,611
給臨時利厚交議運搬費	381,420	111,398	270,022
給臨時利厚交議運搬費	419,250	605,958	△ 186,708

I 一般正味財産増減の部			
(公3 共生社会創造事業費)	8,452,496	18,778,771	△ 10,326,275
役員報酬	350,000	350,000	0
役員退職慰労引当金繰入	25,000	25,000	0
職員退職給付引当金繰入	10,000	20,000	△ 10,000
賞与引当金繰入	50,000	292,500	△ 242,500
給料	2,245,000	4,411,667	△ 2,166,667
臨時雇賃生金	0	1,590,000	△ 1,590,000
福利厚生交際費	386,749	722,874	△ 336,125
旅会通	2,958,492	3,346,744	△ 388,252
通信運搬費	16,400	152,857	△ 136,457
消耗品費	65,648	285,941	△ 220,293
印刷製本料	50,384	29,289	21,095
光熱水賃借料	887,733	3,245,844	△ 2,358,111
事務所賃借料	4,737	5,112	△ 375
貸借料	120,911	117,392	3,519
諸謝託	14,152	13,880	272
委租	569,960	2,829,536	△ 2,259,576
会雑	450,872	36,720	414,152
税	73,396	38,795	34,601
市場	167,900	1,198,539	△ 1,030,639
費	5,162	66,081	△ 60,919
(公益共通事業)	1,194,876	1,709,235	△ 514,359
通信運搬費	498,192	555,766	△ 57,574
消耗品費	109,563	968,821	△ 859,258
印刷製本却	0	30,618	△ 30,618
減価償却費	587,121	154,030	433,091
管理費	12,078,946	11,644,536	434,410
役員報酬	2,670,000	2,550,000	120,000
役員退職慰労引当金繰入	245,000	205,000	40,000
職員退職給付引当金繰入	190,000	100,000	90,000
賞与引当金繰入	△ 80,000	△ 32,500	△ 47,500
給料	1,904,998	2,114,998	△ 210,000
福利厚生交際費	950,652	947,370	3,282
旅会通	575,044	566,595	8,449
通信運搬費	264,646	335,058	△ 70,412
消耗品費	147,165	148,611	△ 1,446
印刷製本料	493,512	541,554	△ 48,042
光熱水賃借料	466,959	389,489	77,470
事務所賃借料	20,059	48,567	△ 28,508
貸借料	1,148,648	1,115,221	33,427
諸謝託	134,448	131,862	2,586
委租	89,096	44,548	44,548
会雑	360,884	371,088	△ 10,204
税	201,750	3,000	198,750
市場	51,050	22,900	28,150
修外手数料	54,468	22,200	32,268
支諸減	636,309	312,265	324,044
雑	876,295	1,058,544	△ 182,249
償却	212,000	212,000	0
費	9,847	10,245	△ 398
計	456,116	425,921	30,195
經常費用計	401,895,370	367,553,579	34,341,791
当期經常増減額	24,728,181	5,731,333	18,996,848
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	24,728,181	5,731,333	18,996,848
一般正味財産期首残高	75,621,561	69,890,228	5,731,333
一般正味財産期末残高	100,349,742	75,621,561	24,728,181
II 指定正味財産増減の部			
受取助成金	0	21,201,031	△ 21,201,031
受取寄付金	255,699,888	234,235,131	21,464,757
一般正味財産へ振替	△ 290,123,228	△ 230,926,989	△ 59,196,239
当期指定正味財産増減額	△ 34,423,340	24,509,173	△ 58,932,513
指定正味財産期首残高	147,465,393	122,956,220	24,509,173
指定正味財産期末残高	113,042,053	147,465,393	△ 34,423,340
III 正味財産期末残高	213,391,795	223,086,954	△ 9,695,159

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	役員退任慰労引当資産 普通預金(三菱UFJ/赤坂見附)	14,075,000	800,000	0	14,875,000
	職員退職給付引当資産 普通預金(三菱UFJ/赤坂見附)	4,666,000	1,403,056	1,973,856	4,095,200
	受取寄付金資産 普通預金(三菱UFJ/赤坂見附)	34,096,868	77,130,149	84,231,409	26,995,608
	受取寄付金資産 普通預金(みずほ/丸之内)	92,998,124	80,813,886	99,587,427	74,224,583
	受取寄付金資産 普通預金(みずほ/赤坂)	4,034,001	168,560,834	171,265,911	1,328,924
	受取寄付金資産 普通預金(三井住友/赤坂)	116,000	25,876,938	22,000,000	3,992,938
	受取寄付金資産 普通預金(ゆうちょ銀行)	630,000	21,999,000	16,129,000	6,500,000
	受取助成金資産 普通預金(三菱UFJ/赤坂見附)	15,590,400	0	15,590,400	0
	普及啓発事業等積立資金 普通預金(みずほ/丸之内)	46,791,580	0	4,191,547	42,600,033
	特定資産 計	212,997,973	376,583,863	414,969,550	174,612,286

2. 引当金の明細

役員退任慰労引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退任慰労引当金	14,075,000	800,000	0	0	14,875,000

職員退職給付引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
職員退職給付引当金	4,666,000	1,403,056	1,973,856	0	4,095,200

賞与引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	2,571,500	2,894,000	2,571,500	0	2,894,000

財 産 目 録

2020年3月31日現在

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額		
流動資産					
	現金預金	普通預金	運転資金として	41,080,305	
		郵便貯金	運転資金として	786,707	41,867,012
	未収金	㈱かんぽ生命保険他	公2事業の未収分	22,114,971	22,114,971
	前払費用	三菱地所プロパティマネジメント㈱他	公益事業ならびに法人会計に供する賃料等の前払費用他	3,585,086	3,585,086
	立替金	㈱バリューマーケティング研究所	ボランティア演芸会に係る演者交通費	146,586	146,586
	仮払金	近藤尚子	モリサワフォト購入代	40,200	40,200
	貯蔵品	機関誌『フィランソロピー』在庫	公1事業の使用に供している	163,026	
その他出版物在庫他		公1事業他の使用に供している	118,610	281,636	
流動資産 合計				68,035,491	
固定資産					
特定資産	役員退任慰労引当資産	三菱UFJ銀行 赤坂見附支店	役員退職金給付引当金見合の引当金として管理している	14,875,000	14,875,000
	職員退職給付引当資産	三菱UFJ銀行 赤坂見附支店	職員退任慰労引当金見合の引当金として管理している	4,095,200	4,095,200
	受取寄付金資産	みずほ銀行 赤坂支店	フィランソロピーバンク事業他	1,328,924	
		三菱UFJ銀行 赤坂見附支店	東京ガス「森里海つなぐプロジェクト」他	15,739,913	
		三菱UFJ銀行 赤坂見附支店	東北復興支援事業	11,255,695	
		みずほ銀行 丸之内支店	サントリー東北サンさんプロジェクト	2,338,803	
		みずほ銀行 丸之内支店	東京海上日動あんしん生命20周年記念事業他	71,885,780	
		三井住友銀行 赤坂見附支店	誕生日寄付事業	3,992,938	
		ゆうちょ銀行	フィランソロピーバンク事業	6,500,000	113,042,053
普及啓発事業等積立資金	みずほ銀行 丸之内支店	特定費用準備資金	42,600,033	42,600,033	
特定資産 計				174,612,286	
その他固定資産	建物附属設備	間仕切り等	81.0%部分:公益目的保有財産であり、公益共通に供している	4	
		同上	19.0%部分:法人会計に供している	2	6
	什器備品		81.0%部分:公益目的保有財産であり、公益共通に供している	78,665	
			19.0%部分:法人会計に供している	18,452	97,117
	ソフトウェア	ボランティアウェブシステム開発他	公益目的保有財産であり、公2事業に供している	1,233,815	
			公益目的保有財産であり、公益目的共通事業に供している	2,459,708	3,693,523
電話加入権	03-5205-7580他	法人会計に供している	4	4	
その他固定資産 計				3,790,650	
固定資産 合計				178,402,936	
資産 合計				246,438,427	

財 産 目 録

2020年3月31日現在

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
流動負債	未払金	特非) 共存の森ネットワーク他	公益事業ならびに法人会計に供する経費等の未払分	5,009,683	5,009,683
	前受金	東京海上日動あんしん生命保険(株)	公益事業収益の前受分	234,075	234,075
	仮受金	岡部蘭他	サントリー・チャレンジドアスリート奨励金返還分	640,000	640,000
	預り金	役職員他	源泉所得税、住民税、社会保険料	793,474	793,474
	未払消費税等	翹町税務署	当期分消費税	4,505,200	4,505,200
	賞与引当金	職員分	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の賞与引当金	2,894,000	2,894,000
流動負債 合計				14,076,432	
固定負債	役員退任慰労引当金	役員分	公益目的事業及び管理目的の業務を執行する役員の退職慰労金の引当金	14,875,000	14,875,000
	職員退職給付引当金	職員分	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の退職給付金の引当金	4,095,200	4,095,200
固定負債 合計				18,970,200	
負債 合計				33,046,632	
正味財産				213,391,795	

2020年（令和2年）5月15日

監査報告書

公益社団法人日本フィランソロピー協会
理事長 高橋陽子 殿

公益社団法人日本フィランソロピー協会

監事

奥川 貴子

公益社団法人日本フィランソロピー協会

監事

尾崎 韓郎

私たちは、2019年（平成31年）4月1日から2020年（令和2年）3月31日までの会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録は会計帳簿と一致し、法人の財産及び損益の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は、真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な過失はないと認める。

以上

貸借対照表

(2021年 3月31日現在)

公益社団法人 日本フィランソपी協会
一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	26,045,600	41,867,012	△ 15,821,412
普 通 預 金	25,189,475	41,080,305	△ 15,890,830
郵 便 貯 金	856,125	786,707	69,418
未 収 金	19,971,632	22,114,971	△ 2,143,339
未 収 消 費 税	487,600	0	487,600
前 払 費 用	2,122,729	3,585,086	△ 1,462,357
立 替 金	0	146,586	△ 146,586
仮 払 金	148,940	40,200	108,740
貯 蔵 品	459,192	281,636	177,556
流動資産合計	49,235,693	68,035,491	△ 18,799,798
2. 固定資産			
(1) 基 本 財 産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特 定 資 産			
役 員 退 任 慰 労 引 当 資 産	15,325,000	14,875,000	450,000
職 員 退 職 給 付 引 当 資 産	5,248,000	4,095,200	1,152,800
受 取 寄 付 金 資 産	120,936,703	113,042,053	7,894,650
普 及 啓 発 事 業 等 積 立 資 金	35,349,789	42,600,033	△ 7,250,244
コ ロ ナ 経 営 安 定 化 資 金	13,096,494	0	13,096,494
特定資産合計	189,955,986	174,612,286	15,343,700
(3) そ の 他 固 定 資 産			
建 物 附 属 設 備	2	6	△ 4
什 器 備 品	219,005	97,117	121,888
ソ フ ト ウ ェ ア	4,451,675	3,693,523	758,152
電 話 加 入 権	4	4	0
その他固定資産合計	4,670,686	3,790,650	880,036
固定資産合計	194,626,672	178,402,936	16,223,736
資産合計	243,862,365	246,438,427	△ 2,576,062
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	8,433,269	5,009,683	3,423,586
前 受 金	205,950	234,075	△ 28,125
仮 受 金	0	640,000	△ 640,000
預 り 金	914,717	793,474	121,243
未 払 消 費 税 等	0	4,505,200	△ 4,505,200
賞 与 引 当 金	2,299,167	2,894,000	△ 594,833
流動負債合計	11,853,103	14,076,432	△ 2,223,329
2. 固定負債			
役 員 退 任 慰 労 引 当 金	15,325,000	14,875,000	450,000
職 員 退 職 給 付 引 当 金	5,248,000	4,095,200	1,152,800
固定負債合計	20,573,000	18,970,200	1,602,800
負債合計	32,426,103	33,046,632	△ 620,529
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	120,936,703	113,042,053	7,894,650
指定正味財産合計	120,936,703	113,042,053	7,894,650
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(120,936,703)	(113,042,053)	(7,894,650)
2. 一般正味財産	90,499,559	100,349,742	△ 9,850,183
(うち基本財産への充当額)	()	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(48,446,283)	(42,600,033)	(5,846,250)
正味財産合計	211,436,262	213,391,795	△ 1,955,533
負債及び正味財産合計	243,862,365	246,438,427	△ 2,576,062

正味財産増減計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	19,684,000	23,702,000	△ 4,018,000
正会費	7,110,000	10,200,000	△ 3,090,000
事業員受取会費	12,574,000	13,502,000	△ 928,000
事業員受取会費	56,708,139	104,715,746	△ 48,007,607
1. 社会貢献啓発事業	228,475	258,475	△ 30,000
2. 社会貢献啓発事業	55,695,159	103,228,920	△ 47,533,761
3. 共生社会創成	784,505	1,228,351	△ 443,846
受取補助金	2,817,549	18,092,652	△ 15,275,103
受取雑収入	194,037,406	280,110,036	△ 86,072,630
受取雑収入	2,349	3,117	△ 768
受取雑収入	2,349	2,617	△ 268
受取雑収入	0	500	△ 500
経常収益計	273,249,443	426,623,551	△ 153,374,108
(2) 経常費用			
事業費	271,867,307	389,816,424	△ 117,949,117
(公1 社会貢献啓発事業費)	17,488,357	10,911,022	6,577,335
役員退任慰労引当金繰入	1,382,065	1,400,000	△ 17,935
役員退任慰労引当金繰入	90,000	100,000	△ 10,000
賞与引当金繰入	20,000	0	20,000
給付料	2,754,996	2,514,996	240,000
旅費	638,805	664,576	△ 25,771
会議費	321,025	658,056	△ 337,031
通信費	39,753	36,915	2,838
消耗品費	2,532,310	389,656	2,142,654
印刷製本費	250,708	1,237,907	△ 987,199
光熱費	204,390	242,185	△ 37,795
事務所賃借料	4,148,250	1,560,967	2,587,283
事務所賃借料	34,484	40,270	△ 5,786
貸借料	1,115,569	1,027,738	87,831
諸委託費	117,614	120,294	△ 2,680
租税公課	1,484,135	291,281	1,192,854
雑費	2,295,957	610,737	1,685,220
雑費	17,046	15,444	1,602
雑費	41,250	0	41,250
(公2 社会貢献促進事業費)	245,531,948	369,258,030	△ 123,726,082
役員退任慰労引当金繰入	4,523,759	4,880,000	△ 356,241
職員退任慰労引当金繰入	225,000	430,000	△ 205,000
賞与引当金繰入	706,400	1,203,056	△ 496,656
給付料	△ 784,833	352,500	△ 1,137,333
臨時費	33,571,333	28,941,026	4,630,307
旅費	15,000	2,208,484	△ 2,193,484
会議費	5,993,666	5,684,602	309,064
通信費	5,064,536	25,997,613	△ 20,933,077
消耗品費	179,208	822,087	△ 642,879
印刷製本費	496,922	820,454	△ 323,532
光熱費	184,462	1,159,684	△ 975,222
事務所賃借料	307,323	742,861	△ 435,538
事務所賃借料	125,783	146,867	△ 21,084
貸借料	4,068,545	3,748,219	320,326
諸委託費	1,725,161	905,350	819,811
租税公課	1,040	89,916	△ 88,876
雑費	1,821,686	8,240,151	△ 6,418,465
雑費	164,703,920	231,364,226	△ 66,660,306
雑費	17,094,277	35,751,624	△ 18,657,347
雑費	4,155,225	6,168,060	△ 2,012,835
雑費	731,548	8,800,580	△ 8,069,032
雑費	9,930	381,420	△ 371,490
雑費	612,057	419,250	192,807
(公3 共生社会創成事業費)	6,258,905	8,452,496	△ 2,193,591
役員退任慰労引当金繰入	345,516	350,000	△ 4,484
職員退任慰労引当金繰入	22,500	25,000	△ 2,500
賞与引当金繰入	256,400	10,000	246,400
賞与引当金繰入	145,000	50,000	95,000

科 目	当年度	前年度	増 減
給料	2,517,000	2,245,000	272,000
臨時	402,740	0	402,740
法旅	426,075	386,749	39,326
会通	242,249	2,958,492	△ 2,716,243
消信	26,329	16,400	9,929
印耗	31,709	65,648	△ 33,939
光刷	15,313	50,384	△ 35,071
事熱	319,188	887,733	△ 568,545
賃務	4,057	4,737	△ 680
諸所	131,244	120,911	10,333
委借	13,837	14,152	△ 315
租託	907,750	569,960	337,790
會稅	39,759	450,872	△ 411,113
雜場	58,529	73,396	△ 14,867
(公 益 共 通 事 業)	346,020	167,900	178,120
通信	7,690	5,162	2,528
消運	2,588,097	1,194,876	1,393,221
印品	572,094	498,192	73,902
減刷	1,184,628	109,563	1,075,065
管 理 費	0	0	0
役員	831,375	587,121	244,254
員退	11,232,319	12,078,946	△ 846,627
退任	2,439,979	2,670,000	△ 230,021
職員	112,500	245,000	△ 132,500
賞與	190,000	190,000	0
給料	25,000	△ 80,000	105,000
法定	1,874,998	1,904,998	△ 30,000
旅費	715,245	950,652	△ 235,407
会通	321,685	575,044	△ 253,359
消信	185,877	264,646	△ 78,769
印耗	171,727	147,165	24,562
光刷	611,388	493,512	117,876
事熱	381,448	466,959	△ 85,511
賃務	38,520	20,059	18,461
諸所	1,246,812	1,148,648	98,164
委借	137,611	134,448	3,163
租託	33,411	89,096	△ 55,685
會稅	493,216	360,884	132,332
雜險	201,750	201,750	0
研修	29,550	51,050	△ 21,500
支外	25,370	54,468	△ 29,098
諸手	390,624	636,309	△ 245,685
減會	1,096,453	876,295	220,158
雜償	215,000	212,000	3,000
	1	9,847	△ 9,846
	294,154	456,116	△ 161,962
經常費用計	283,099,626	401,895,370	△ 118,795,744
当期經常増減額	△ 9,850,183	24,728,181	△ 34,578,364
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 9,850,183	24,728,181	△ 34,578,364
一般正味財産期首残高	100,349,742	75,621,561	24,728,181
一般正味財産期末残高	90,499,559	100,349,742	△ 9,850,183
II 指定正味財産増減の部			
受取助成金	0	0	0
受取寄付金	200,686,925	255,699,888	△ 55,012,963
一般正味財産へ振替	△ 192,792,275	△ 290,123,228	97,330,953
当期指定正味財産増減額	7,894,650	△ 34,423,340	42,317,990
指定正味財産期首残高	113,042,053	147,465,393	△ 34,423,340
指定正味財産期末残高	120,936,703	113,042,053	7,894,650
III 正味財産期末残高	211,436,262	213,391,795	△ 1,955,533

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	役員退任慰労引当資産 普通預金(三菱UFJ/赤坂見附)	14,875,000	450,000	0	15,325,000
	職員退職給付引当資産 普通預金(三菱UFJ/赤坂見附)	4,095,200	1,152,800	0	5,248,000
	受取寄付金資産 普通預金(三菱UFJ/赤坂見附)	26,995,608	57,418,038	54,572,242	29,841,404
	受取寄付金資産 普通預金(みずほ/丸之内)	74,224,583	74,135,190	70,569,887	77,789,886
	受取寄付金資産 普通預金(みずほ/赤坂)	1,328,924	155,890,963	156,887,040	332,847
	受取寄付金資産 普通預金(三井住友/赤坂)	3,992,938	29,964,684	27,485,056	6,472,566
	受取寄付金資産 普通預金(ゆうちょ銀行)	6,500,000	19,798,300	19,798,300	6,500,000
	特定費用準備資金 普通預金(みずほ/丸之内)	42,600,033	0	7,250,244	35,349,789
	特定費用準備資金 普通預金(みずほ/丸之内他)	0	18,000,000	4,903,506	13,096,494
	特定資産 計	174,612,286	356,809,975	341,466,275	189,955,986

2. 引当金の明細

役員退任慰労引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退任慰労引当金	14,875,000	450,000	0	0	15,325,000

職員退職給付引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
職員退職給付引当金	4,095,200	1,152,800	0	0	5,248,000

賞与引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	2,894,000	2,299,167	2,894,000	0	2,299,167

財 産 目 録

2021年3月31日現在

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額		
流動資産	現金預金	普通預金	運転資金として	25,189,475	
		郵便貯金	運転資金として	856,125	26,045,600
	未収金	田辺三菱製薬他	公2事業等の未収分	19,971,632	19,971,632
	未収消費税	麴町税務署	2020年度未収消費税	487,600	487,600
	前払費用	三菱地所プロパティマネジメント(株)他	公益事業ならびに法人会計に供する賃料等の前払費用他	2,122,729	2,122,729
	仮払金	みずほ銀行	誤振込分	148,940	148,940
	貯蔵品	機関誌『フィランソロピー』在庫	公1事業の使用に供している	267,623	
その他出版物在庫他		公1事業他の使用に供している	191,569	459,192	
流動資産 合計				49,235,693	
固定資産 特定資産	役員退任慰 労引当資産	大和ネクスト銀行 エビス支店 普通預金	役員退職金給付引当金見合の引当金として管理している	15,325,000	15,325,000
	職員退職給 付引当資産	三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通預金	職員退任慰労引当金見合の引当金として管理している	5,248,000	5,248,000
	受取寄付金資産	みずほ銀行 赤坂支店 普通預金	フィランソロピーバンク事業他	332,847	
		三菱UFJ銀行 赤坂見附支店 普通預金	東京ガス「森里海つなぐプロジェクト」他	29,841,404	
		みずほ銀行 丸之内支店 普通預金	サントリー東北サンさんプロジェクト	558,696	
		みずほ銀行 丸之内支店 普通預金	東京海上日動あんしん生命20周年記念事業他	77,231,190	
		三井住友銀行 赤坂見附支店 普通預金	誕生日寄付事業他	6,472,566	
		ゆうちょ銀行 普通預金	フィランソロピーバンク事業	6,500,000	120,936,703
	特定費用準備資金	みずほ銀行 丸之内支店 普通預金	普及啓発事業等積立資金	35,349,789	
		みずほ銀行 丸之内支店他 普通預金	コロナ経営安定化資金	13,096,494	48,446,283
特定資産 計				189,955,986	
その他 固定資産	建物附属設備	間仕切り等	81.0%部分:公益目的保有財産であり、公益共通に供している	1	
		同上	19.0%部分:法人会計に供している	1	2
	什器備品		81.0%部分:公益目的保有財産であり、公益共通に供している	39,343	
			19.0%部分:法人会計に供している	9,228	
			公益目的保有財産であり、公2事業に供している	95,700	
		公益目的保有財産であり、公益共通に供している	74,734	219,005	
ソフトウェア	ボランティアウェブシステム開発他	公益目的保有財産であり、公2事業に供している	1,686,154		
		公益目的保有財産であり、公益目的共通事業に供している	2,765,521	4,451,675	
電話加入権	03-5205-7580他	法人会計に供している	4	4	
その他固定資産 計				4,670,686	
固定資産 合計				194,626,672	
資産 合計				243,862,365	

財 産 目 録

2021年3月31日現在

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
流動負債	未払金	特非) 共存の森ネットワーク他	公益事業ならびに法人会計に供する経費等の未払分	8,433,269	8,433,269
	前受金	東京海上日動あんしん生命保険(株)	公益事業収益の前受分	205,950	205,950
	預り金	役職員他	源泉所得税、住民税、社会保険料	914,717	914,717
	賞与引当金	職員分	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の賞与引当金	2,299,167	2,299,167
流動負債 合計				11,853,103	
固定負債	役員退任慰勞引当金	役員分	公益目的事業及び管理目的の業務を執行する役員の退職慰勞金の引当金	15,325,000	15,325,000
	職員退職給付引当金	職員分	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の退職給付金の引当金	5,248,000	5,248,000
固定負債 合計				20,573,000	
負債 合計				32,426,103	
正味財産				211,436,262	

2021年(令和3年)5月13日

監査報告書

公益社団法人日本フィランソロピー協会
理事長 高橋陽子 殿

公益社団法人日本フィランソロピー協会

監事 奥川 貴弥

公益社団法人日本フィランソロピー協会

監事 尾崎 輝郎

私たちは、2020年(令和2年)4月1日から2021年(令和3年)3月31日までの会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録は会計帳簿と一致し、法人の財産及び損益の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は、真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な過失はないと認める。

以上

貸借対照表

(2022年 3月31日現在)

公益社団法人 日本フィランソロピー協会
一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現 金 預 金	69,332,795	26,045,600	43,287,195
普 通 預 金	68,404,446	25,189,475	43,214,971
郵 便 貯 金	928,349	856,125	72,224
未 収 金	21,007,087	19,971,632	1,035,455
未 収 消 費 税	0	487,600	△ 487,600
前 払 費 用	1,747,260	2,122,729	△ 375,469
仮 払 金	0	148,940	△ 148,940
貯 蔵 品	789,025	459,192	329,833
流動資産合計	92,876,167	49,235,693	43,640,474
2. 固定資産			
(1) 基 本 財 産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特 定 資 産			
役 員 退 任 慰 労 引 当 資 産	18,616,667	15,325,000	3,291,667
職 員 退 職 給 付 引 当 資 産	6,556,000	5,248,000	1,308,000
受 取 寄 付 金 資 産	61,242,298	120,936,703	△ 59,694,405
普 及 啓 発 事 業 等 積 立 資 金	0	35,349,789	△ 35,349,789
コ ロ ナ 経 営 安 定 化 資 金	13,096,494	13,096,494	0
特定資産合計	99,511,459	189,955,986	△ 90,444,527
(3) そ の 他 固 定 資 産			
建 物 附 属 設 備	2	2	0
什 器 備 品	85,244	219,005	△ 133,761
ソ フ ト ウ ェ ア	3,083,951	4,451,675	△ 1,367,724
電 話 加 入 権	4	4	0
その他固定資産合計	3,169,201	4,670,686	△ 1,501,485
固定資産合計	102,680,660	194,626,672	△ 91,946,012
資産合計	195,556,827	243,862,365	△ 48,305,538
II 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	3,490,096	8,433,269	△ 4,943,173
前 受 金	2,695,000	205,950	2,489,050
預 り 金	773,481	914,717	△ 141,236
未 払 消 費 税 等	2,863,800	0	2,863,800
賞 与 引 当 金	2,802,500	2,299,167	503,333
流動負債合計	12,624,877	11,853,103	771,774
2. 固定負債			
役 員 退 任 慰 労 引 当 金	18,616,667	15,325,000	3,291,667
職 員 退 職 給 付 引 当 金	6,556,000	5,248,000	1,308,000
固定負債合計	25,172,667	20,573,000	4,599,667
負債合計	37,797,544	32,426,103	5,371,441
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	61,242,298	120,936,703	△ 59,694,405
指定正味財産合計	61,242,298	120,936,703	△ 59,694,405
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(61,242,298)	(120,936,703)	(△ 59,694,405)
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	96,516,985	90,499,559	6,017,426
(うち基本財産への充当額)	()	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(13,096,494)	(48,446,283)	(△ 35,349,789)
正味財産合計	157,759,283	211,436,262	△ 53,676,979
負債及び正味財産合計	195,556,827	243,862,365	△ 48,305,538

正味財産増減計算書

2021年4月1日から2022年3月31日まで

一般会計

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	20,514,000	19,684,000	830,000
正会員受取会費	6,840,000	7,110,000	△ 270,000
賛助会員受取会費	13,674,000	12,574,000	1,100,000
事業収入	70,636,059	56,708,139	13,927,920
1. 社会貢献啓発事業収入	511,096	228,475	282,621
2. 社会貢献促進事業収入	69,665,443	55,695,159	13,970,284
3. 共生社会創造事業収入	459,520	784,505	△ 324,985
受取補助金	684,407	2,817,549	△ 2,133,142
受取雑収入	188,598,914	194,037,406	△ 5,438,492
受取雑収入	53,328	2,349	50,979
受取雑収入	2,028	2,349	△ 321
受取雑収入	51,300	0	51,300
経常収益計	280,486,708	273,249,443	7,237,265
(2) 経常費用			
事業費	262,503,407	271,867,307	△ 9,363,900
(公1 社会貢献啓発事業費)	16,467,282	17,488,357	△ 1,021,075
役員退任慰労引当金繰入	1,680,000	1,382,065	297,935
賞与引当金繰入	625,000	90,000	535,000
給付料	0	20,000	△ 20,000
旅費	1,819,164	2,754,996	△ 935,832
通信費	367,415	638,805	△ 271,390
会議運搬費	667,896	321,025	346,871
消耗品費	29,079	39,753	△ 10,674
印刷製本料	648,013	2,532,310	△ 1,884,297
光熱費	141,633	250,708	△ 109,075
事務所賃借料	268,871	204,390	64,481
借入金利息	1,360,542	4,148,250	△ 2,787,708
借入金手数料	34,830	34,484	346
諸委託手数料	1,141,523	1,115,569	25,954
租税公課	100,560	117,614	△ 17,054
雑費	2,138,967	1,484,135	654,832
(公2 社会貢献促進事業費)	3,748,205	2,295,957	1,452,248
役員退任慰労引当金繰入	70,840	0	70,840
賞与引当金繰入	1,507,597	0	1,507,597
給付料	36,025	17,046	18,979
旅費	81,122	41,250	39,872
通信費	239,240,328	245,531,948	△ 6,291,620
消耗品費	5,686,000	4,523,759	1,162,241
印刷製本料	1,662,500	225,000	1,437,500
光熱費	1,068,000	706,400	361,600
事務所賃借料	383,333	△ 784,833	1,168,166
借入金利息	27,433,455	33,571,333	△ 6,137,878
借入金手数料	1,480,700	15,000	1,465,700
諸委託手数料	270,000	0	270,000
租税公課	5,029,062	5,993,666	△ 964,604
雑費	5,388,327	5,064,536	323,791
(公3 共生社会創造事業費)	115,076	179,208	△ 64,132
役員退任慰労引当金繰入	462,025	496,922	△ 34,897
賞与引当金繰入	35,232	184,462	△ 149,230
給付料	347,615	307,323	40,292
旅費	127,027	125,783	1,244
通信費	4,163,200	4,068,545	94,655
消耗品費	1,268,704	1,725,161	△ 456,457
印刷製本料	5,280	1,040	4,240
光熱費	6,146,971	1,821,686	4,325,285
事務所賃借料	157,251,109	164,703,920	△ 7,452,811
借入金利息	14,959,476	17,094,277	△ 2,134,801
借入金手数料	238,538	0	238,538
諸委託手数料	4,935,485	4,155,225	780,260
租税公課	15,942	731,548	△ 715,606
雑費	202,565	9,930	192,635
減価償却費	564,706	612,057	△ 47,351
(公3 共生社会創造事業費)	5,076,016	6,258,905	△ 1,182,889
役員退任慰労引当金繰入	420,000	345,516	74,484
賞与引当金繰入	156,250	22,500	133,750
給付料	40,000	256,400	△ 216,400

科 目	当年度	前年度	増 減
賞与引当金繰入	0	145,000	△ 145,000
給付料	2,011,818	2,517,000	△ 505,182
臨時雇賃	0	402,740	△ 402,740
法定福利通	387,024	426,075	△ 39,051
旅会通	249,066	242,249	6,817
通信運搬	5,509	26,329	△ 20,820
消耗品	54,626	31,709	22,917
原稿製本	0	15,313	△ 15,313
印刷製本	272,632	0	272,632
光熱水料	406,131	319,188	86,943
事務所賃借	4,097	4,057	40
貸借料	134,297	131,244	3,053
諸委託	11,831	13,837	△ 2,006
租税公課	521,707	907,750	△ 386,043
会費	33,880	39,759	△ 5,879
雑費	32,840	58,529	△ 25,689
(公益共通事業)	0	346,020	△ 346,020
通信運搬	334,308	7,690	326,618
消耗品	1,719,781	2,588,097	△ 868,316
印刷製本	514,876	572,094	△ 57,218
減価償却	24,395	1,184,628	△ 1,160,233
管理費	252,955	0	252,955
役員報酬	927,555	831,375	96,180
役員退職慰勞引当金繰入	11,965,875	11,232,319	733,556
職員退職給付引当金繰入	3,090,667	2,439,979	650,688
賞与引当金繰入	847,917	112,500	735,417
給付料	200,000	190,000	10,000
法定福利通	120,000	25,000	95,000
旅会通	1,874,998	1,874,998	0
通信運搬	180,000	0	180,000
消耗品	786,992	715,245	71,747
印刷製本	204,459	321,685	△ 117,226
光熱水料	221,087	185,877	35,210
事務所賃借	159,114	171,727	△ 12,613
貸借料	154,712	611,388	△ 456,676
諸委託	133,765	381,448	△ 247,683
租税公課	38,928	38,520	408
会費	1,275,820	1,246,812	29,008
雑費	112,390	137,611	△ 25,221
(2) 経常外費用	33,411	33,411	0
修外手数料	442,860	493,216	△ 50,356
減価償却	201,750	201,750	0
雑費	32,100	29,550	2,550
減価償却	0	25,370	△ 25,370
雑費	416,601	390,624	25,977
減価償却	754,510	1,096,453	△ 341,943
雑費	215,000	215,000	0
減価償却	9,224	1	9,223
雑費	459,570	294,154	165,416
経常費用計	274,469,282	283,099,626	△ 8,630,344
当期経常増減額	6,017,426	△ 9,850,183	15,867,609
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	6,017,426	△ 9,850,183	15,867,609
一般正味財産期首残高	90,499,559	100,349,742	△ 9,850,183
一般正味財産期末残高	96,516,985	90,499,559	6,017,426
II 指定正味財産増減の部			
受取助成金	0	0	0
受取寄付金	128,543,376	200,686,925	△ 72,143,549
一般正味財産へ振替	△ 188,237,781	△ 290,123,228	101,885,447
当期指定正味財産増減額	△ 59,694,405	7,894,650	△ 67,589,055
指定正味財産期首残高	120,936,703	113,042,053	7,894,650
指定正味財産期末残高	61,242,298	120,936,703	△ 59,694,405
III 正味財産期末残高	157,759,283	211,436,262	△ 53,676,979

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位:円)

区分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
特定資産	役員退任慰労引当資産 普通預金(三菱UFJ/赤坂見附)	15,325,000	3,291,667	0	18,616,667
	職員退職給付引当資産 普通預金(三菱UFJ/赤坂見附)	5,248,000	1,308,000	0	6,556,000
	受取寄付金資産 普通預金(三菱UFJ/赤坂見附)	29,841,404	10,268,960	5,469,262	34,641,102
	受取寄付金資産 普通預金(みずほ/丸之内)	77,789,886	50,695,500	121,710,200	6,775,186
	受取寄付金資産 普通預金(みずほ/赤坂)	332,847	130,956,858	128,333,704	2,956,001
	受取寄付金資産 普通預金(三井住友/赤坂)	6,472,566	35,574,205	32,210,562	9,836,209
	受取寄付金資産 普通預金(ゆうちょ銀行)	6,500,000	19,687,100	19,153,300	7,033,800
	特定費用準備資金 普通預金(みずほ/丸之内)	35,349,789	0	35,349,789	0
	特定費用準備資金 普通預金(みずほ/丸之内他)	13,096,494	0	0	13,096,494
	特定資産 計	189,955,986	251,782,290	342,226,817	99,511,459

2. 引当金の明細

役員退任慰労引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退任慰労引当金	15,325,000	3,291,667	0	0	18,616,667

職員退職給付引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
職員退職給付引当金	5,248,000	1,308,000	0	0	6,556,000

賞与引当金

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	2,299,167	2,802,500	2,299,167	0	2,802,500

財 産 目 録

2022年3月31日現在

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
流動資産	現金預金	普通預金	運転資金として	68,404,446	
		郵便貯金	運転資金として	928,349	69,332,795
	未収金	郡山市他	公2事業等の未収分	21,007,087	21,007,087
	前払費用	三菱地所プロパティマネジメント(株)他	公益事業ならびに法人会計に供する賃料等の前払費用他	1,747,260	1,747,260
	貯蔵品	機関誌『フィランソロピー』在庫	公1事業の使用に供している	466,986	
その他出版物在庫他		公1事業他の使用に供している	322,039	789,025	
流動資産 合計				92,876,167	
固定資産					
特定資産	役員退任慰勞引当資産	大和ネクスト銀行 エビス支店	役員退職金給付引当金見合の引当金として管理している	18,616,667	18,616,667
	職員退職給付引当資産	三菱UFJ銀行 赤坂見附支店	職員退任慰勞引当金見合の引当金として管理している	6,556,000	6,556,000
	受取寄付金資産	みずほ銀行 赤坂支店	フィランソロピーバンク事業他	2,956,001	
		三菱UFJ銀行 赤坂見附支店	東京ガス「森里海つなぐプロジェクト」他	34,641,102	
		みずほ銀行 丸之内支店	サントリーみらいチャレンジプロジェクト他	3,815,186	
		みずほ銀行 丸之内支店	東京海上日動あんしん生命20周年記念事業他	2,960,000	
		三井住友銀行 赤坂見附支店	誕生日寄付事業他	9,836,209	
		ゆうちょ銀行	フィランソロピーバンク事業	7,033,800	61,242,298
特定費用準備資金	みずほ銀行 丸之内支店他	コロナ経営安定化資金	13,096,494	13,096,494	
特定資産 計				99,511,459	
その他固定資産	建物附属設備	間仕切り等	81.0%部分:公益目的保有財産であり、公益共通に供している	1	
		同上	19.0%部分:法人会計に供している	1	2
	什器備品		81.0%部分:公益目的保有財産であり、公益共通に供している	21	
			19.0%部分:法人会計に供している	5	
			公益目的保有財産であり、公2事業に供している	47,850	
			公益目的保有財産であり、公益共通に供している	37,368	85,244
	ソフトウェア	ボランティアウェブシステム開発他	公益目的保有財産であり、公2事業に供している	1,169,298	
		公益目的保有財産であり、公益目的共通事業に供している	1,914,653	3,083,951	
電話加入権	03-5205-7580他	法人会計に供している	4	4	
その他固定資産 計				3,169,201	
固定資産 合計				102,680,660	
資産 合計				195,556,827	

財産目録

2022年3月31日現在

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
流動負債	未払金	シャンティ国際ボランティア会他	公益事業ならびに法人会計に供する経費等の未払分	3,490,096	3,490,096
	前受金	東京海上日動あんしん生命保険㈱	公益事業収益の前受分	2,695,000	2,695,000
	預り金	役職員他	源泉所得税、住民税、社会保険料	773,481	773,481
	賞与引当金	職員分	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の賞与引当金	2,802,500	2,802,500
	未払消費税			2,863,800	2,863,800
流動負債 合計					12,624,877
固定負債	役員退任慰労引当金	役員分	公益目的事業及び管理目的の業務を執行する役員の退職慰労金の引当金	18,616,667	18,616,667
	職員退職給付引当金	職員分	公益目的事業及び管理目的の業務に従事する職員の退職給付金の引当金	6,556,000	6,556,000
固定負債 合計					25,172,667
負債 合計					37,797,544
正味財産					157,759,283

2022年(令和4年)5月13日

監査報告書

公益社団法人日本フィランソロピー協会
理事長 高橋陽子 殿

公益社団法人日本フィランソロピー協会

監事 奥川 貴弘

公益社団法人日本フィランソロピー協会

監事 尾崎 輝郎

私たちは、2021年(令和3年)4月1日から2022年(令和4年)3月31日までの会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて、財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2 監査意見

- (1) 財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書）及び附属明細書並びに財産目録は会計帳簿と一致し、法人の財産及び損益の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は、真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な過失はないと認める。

以上